

# 東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

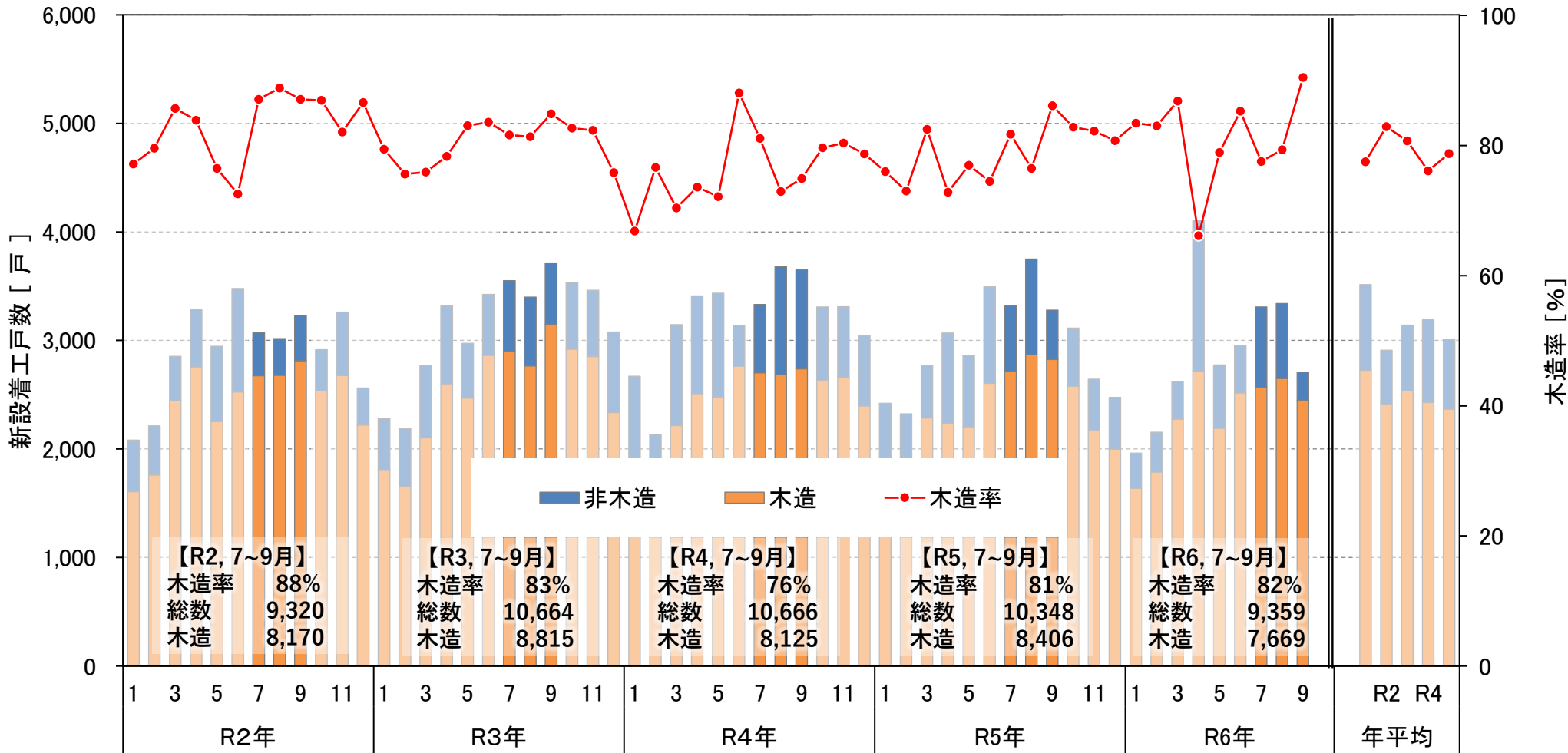
令和6年12月11日(水)

東北森林管理局

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 東北5県の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より989戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より737戸減少し、木造率は1%増加した。

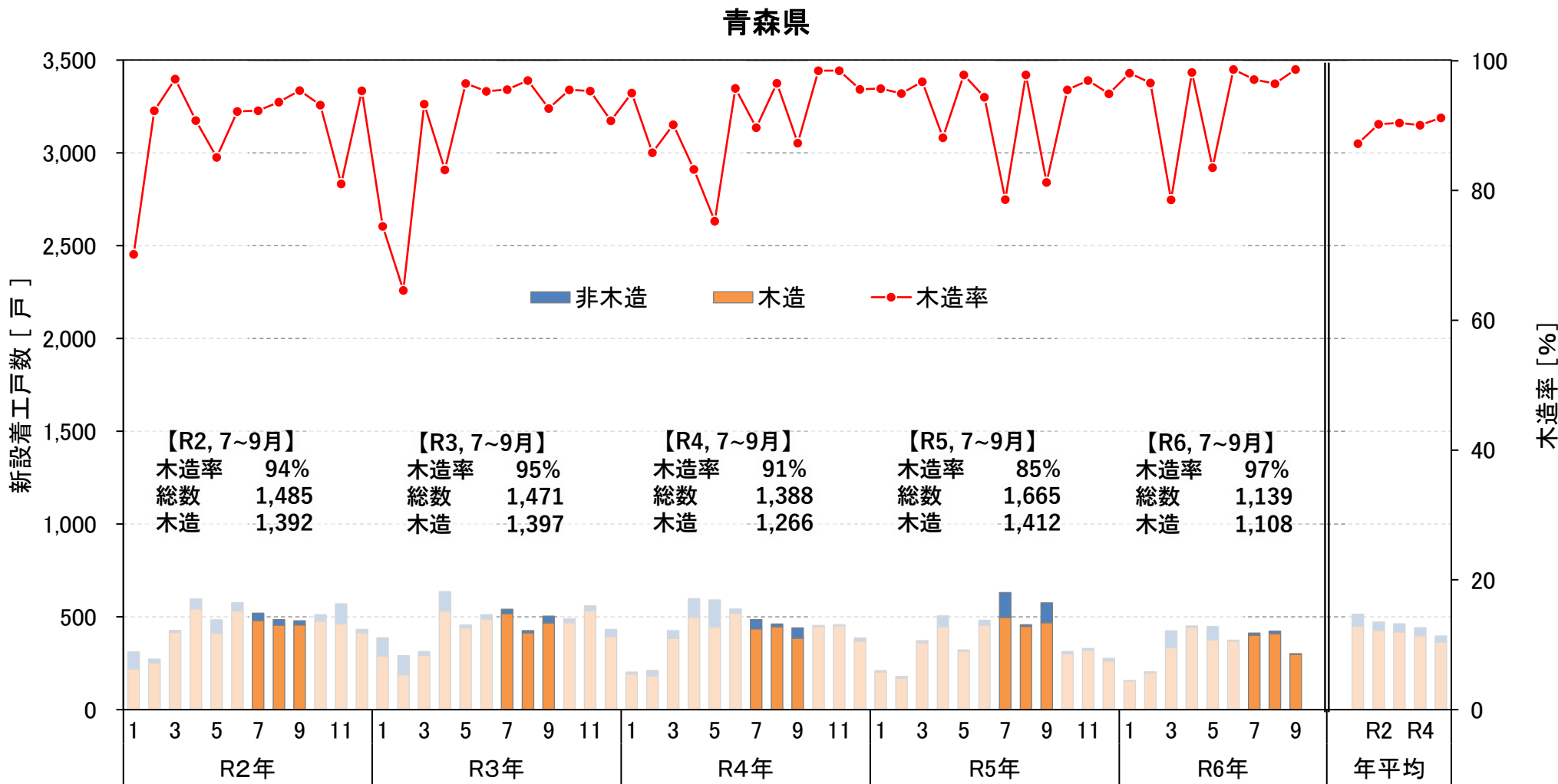
## 東北局管内5県計



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 青森県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 青森県の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より526戸減少した。  
この期間の木造は304戸減少し、木造率は12%増加した。

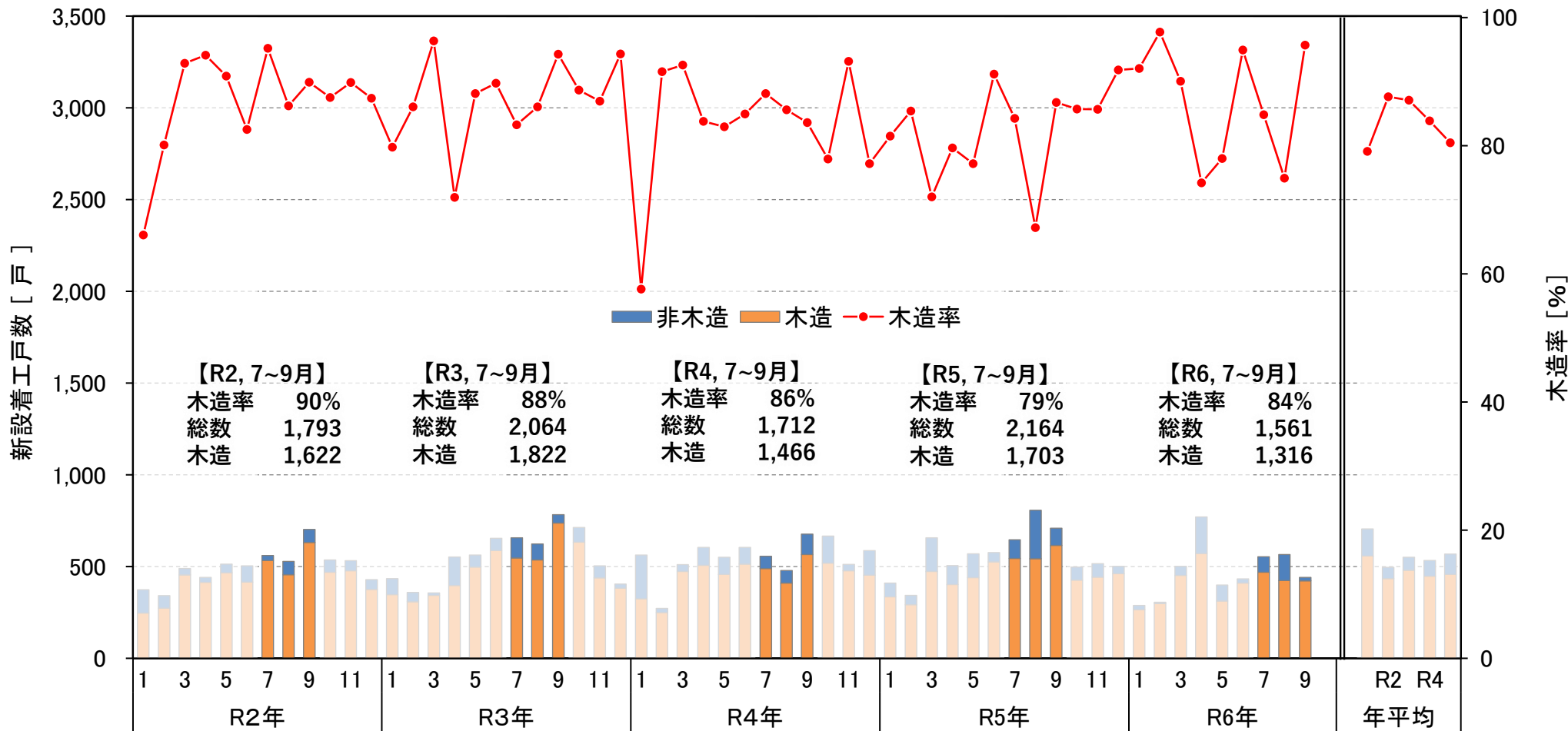


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 岩手県の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より603戸減少した。  
この期間の木造は387戸減少し、木造率は5%増加した。

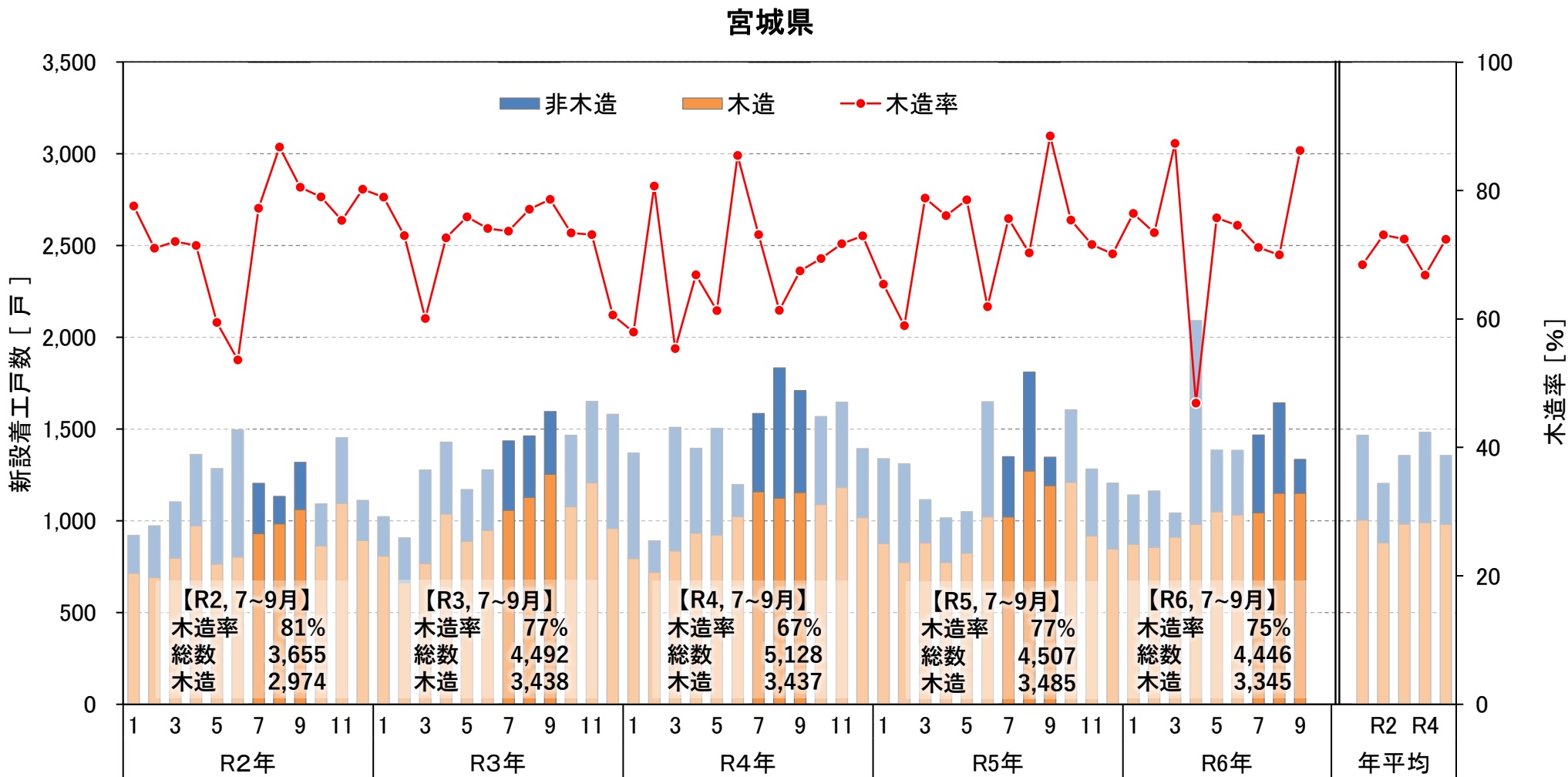
## 岩手県



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

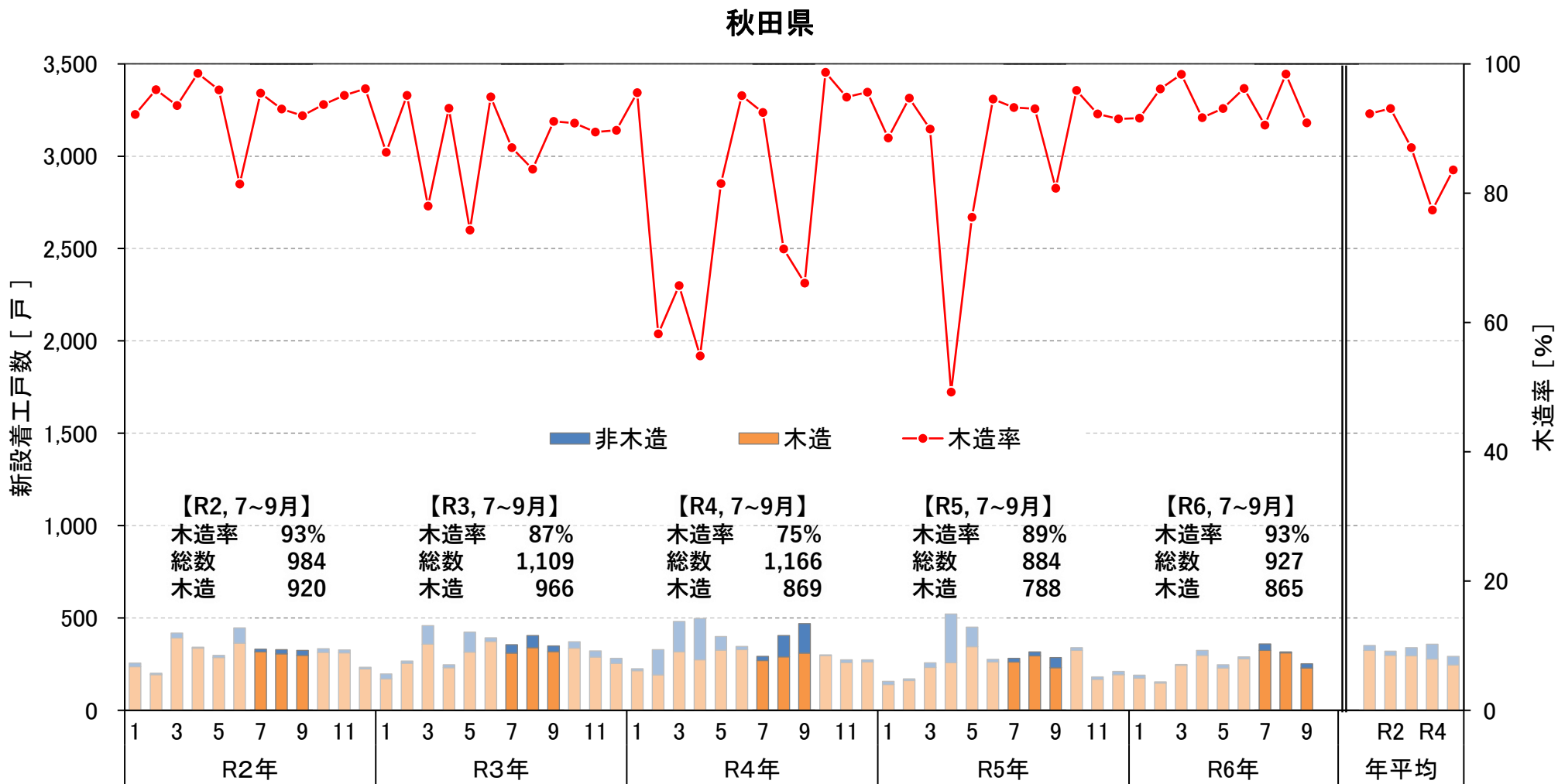
○ 宮城県の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より61戸減少した。  
この期間の木造は140戸減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 秋田県の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より43戸増加した。  
この期間の木造は77戸増加し、木造率は4%増加した。

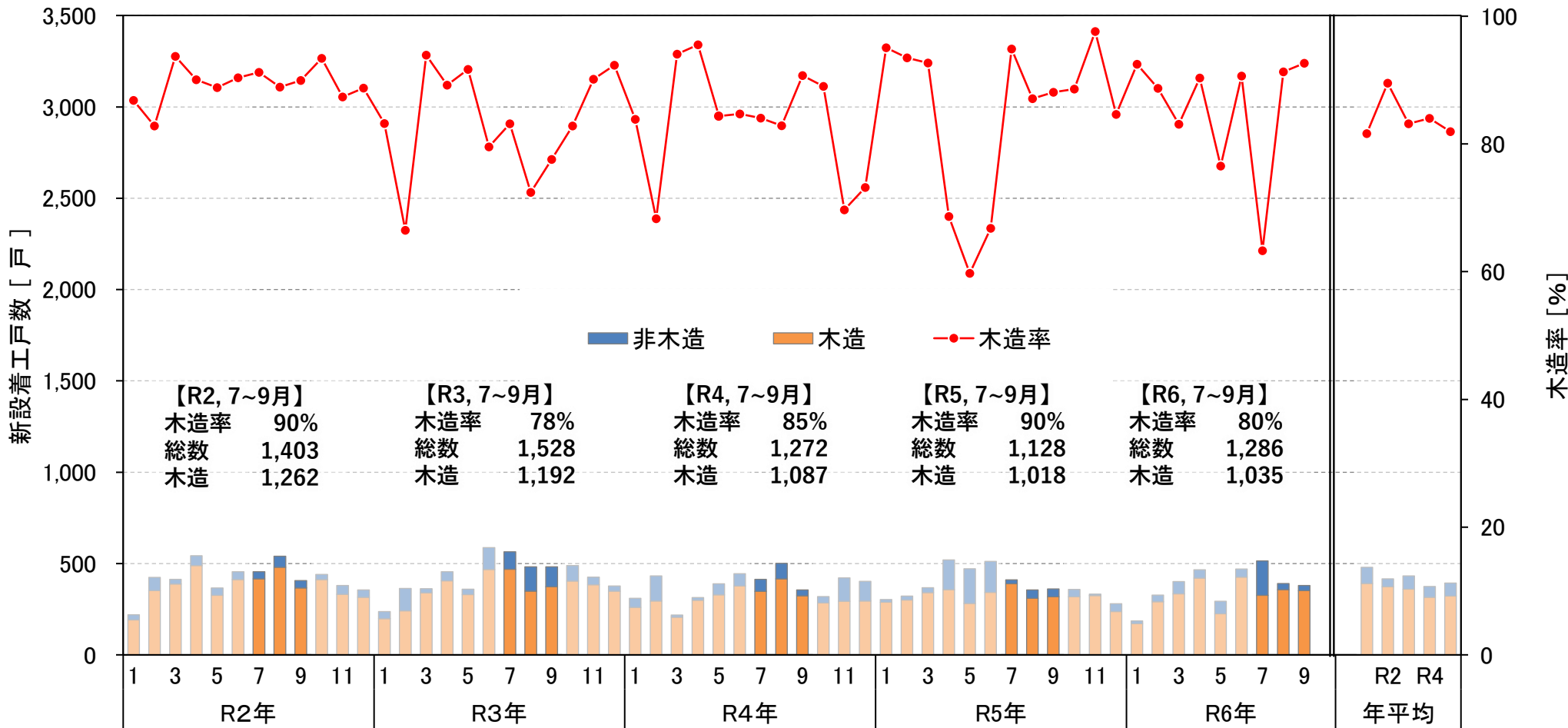


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 山形県の令和6年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より158戸増加した。  
この期間の木造は17戸増加し、木造率は10%減少した。

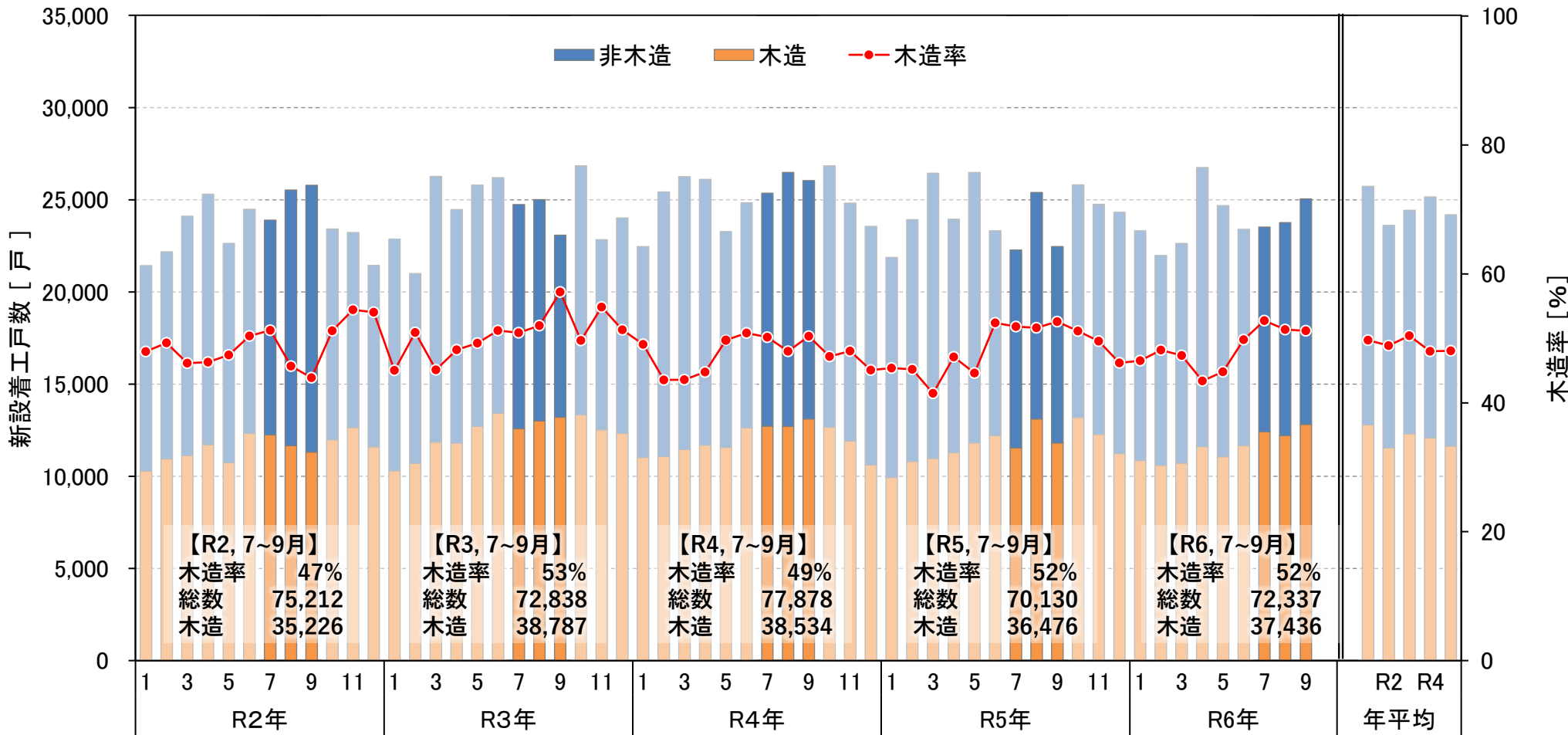
## 山形県



# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 関東主要都市の令和6年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より2,207戸増加した。  
この期間の木造は960戸増加し、木造率は52%で±0%だった。

## 埼玉、千葉、東京、神奈川



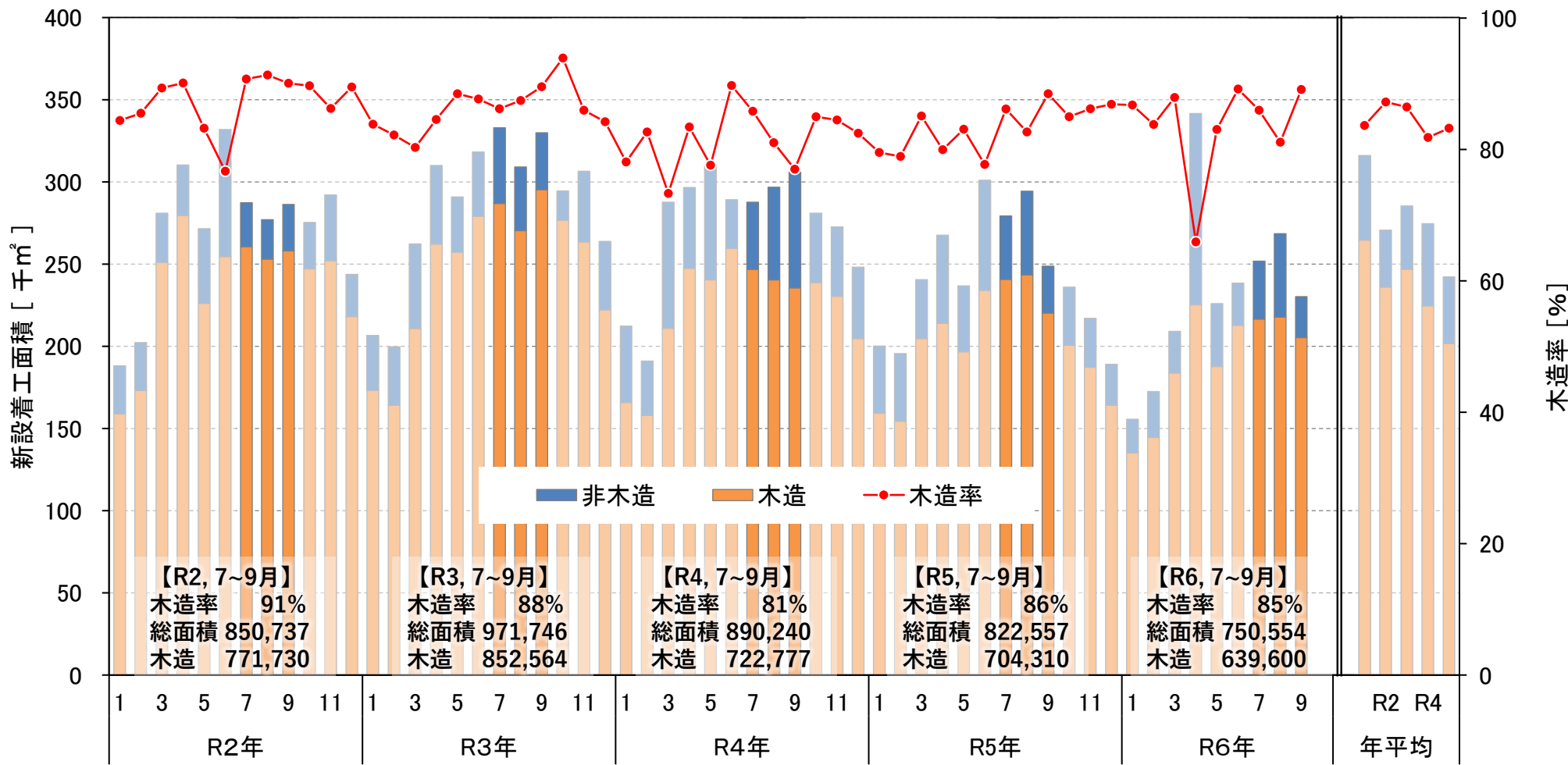
出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 東北5県の令和6年7～9月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より72,003m<sup>2</sup>減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より64,710m<sup>2</sup>減少し、木造率は1%減少した。

## 東北局管内5県計

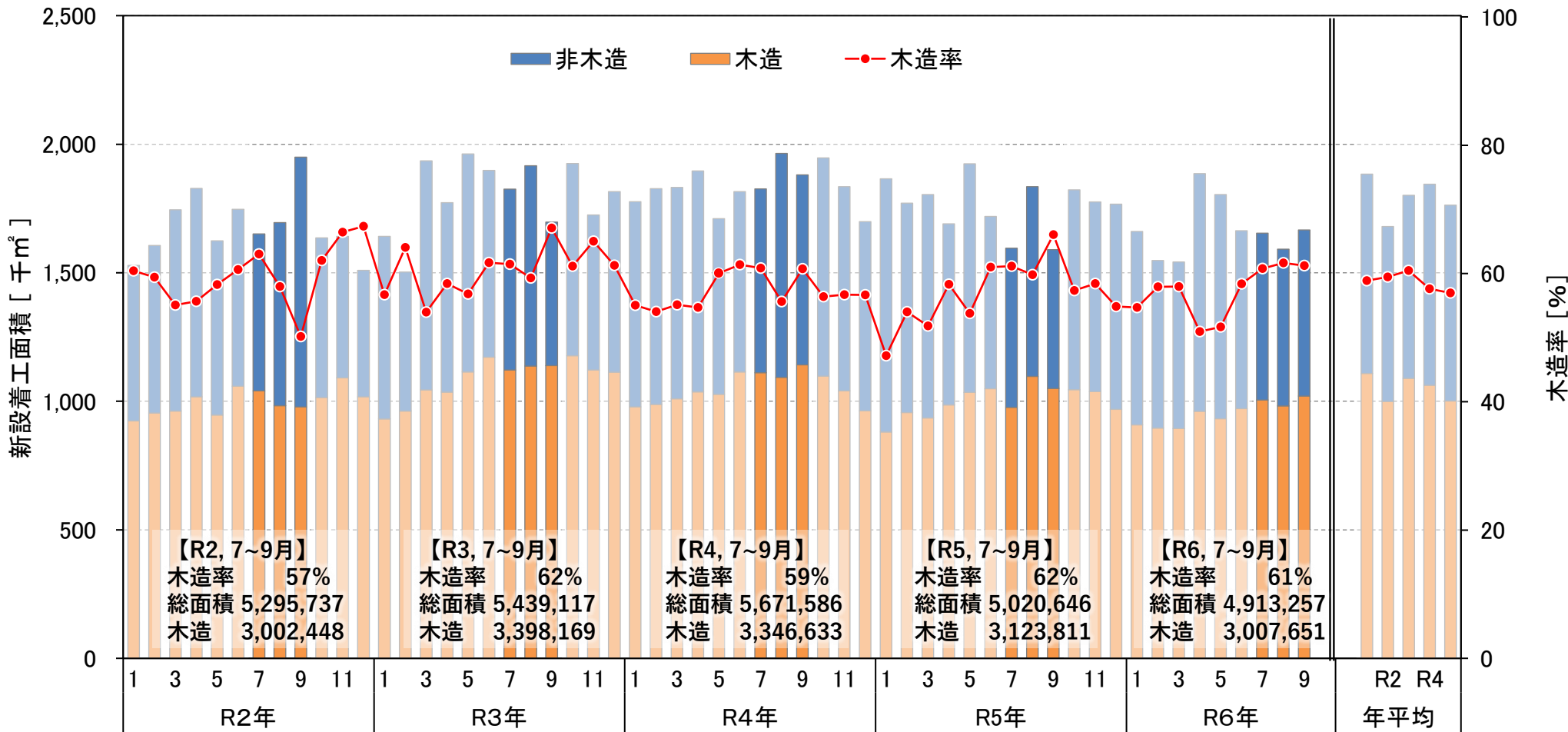


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 関東主要都市の令和6年7～9月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より107,389m<sup>2</sup>減少した。  
この期間の木造は116,160m<sup>2</sup>減少し、木造率は1%減少した。

## 埼玉、千葉、東京、神奈川

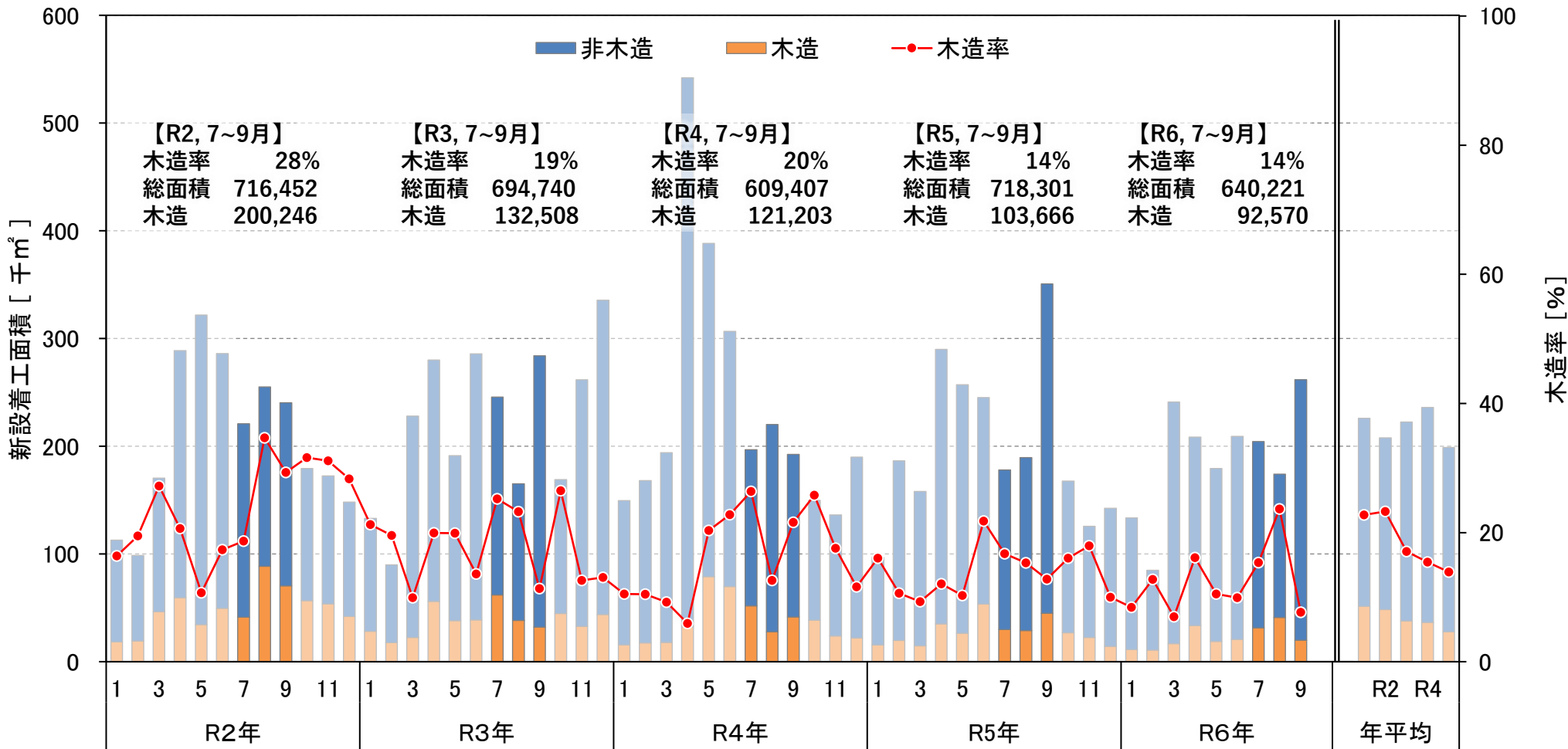


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 東北5県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より78,080㎡減少した。この期間の木造は昨年同期より11,096㎡減少し、木造率は14%で±0%だった。

東北局管内5県計

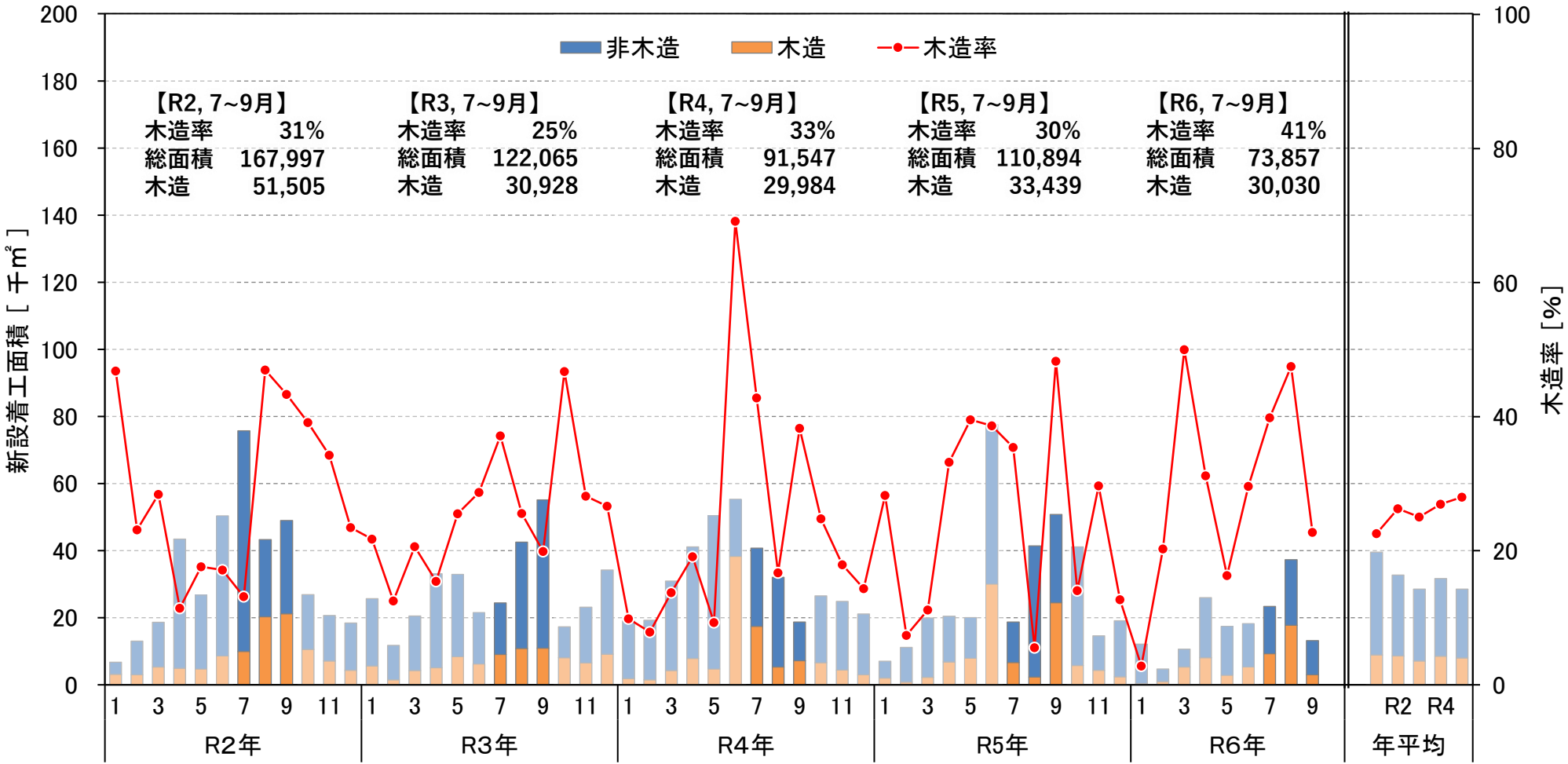


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 青森県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より37,037㎡減少した。  
この期間の木造は3,409㎡減少し、木造率は11%増加した。

## 青森県

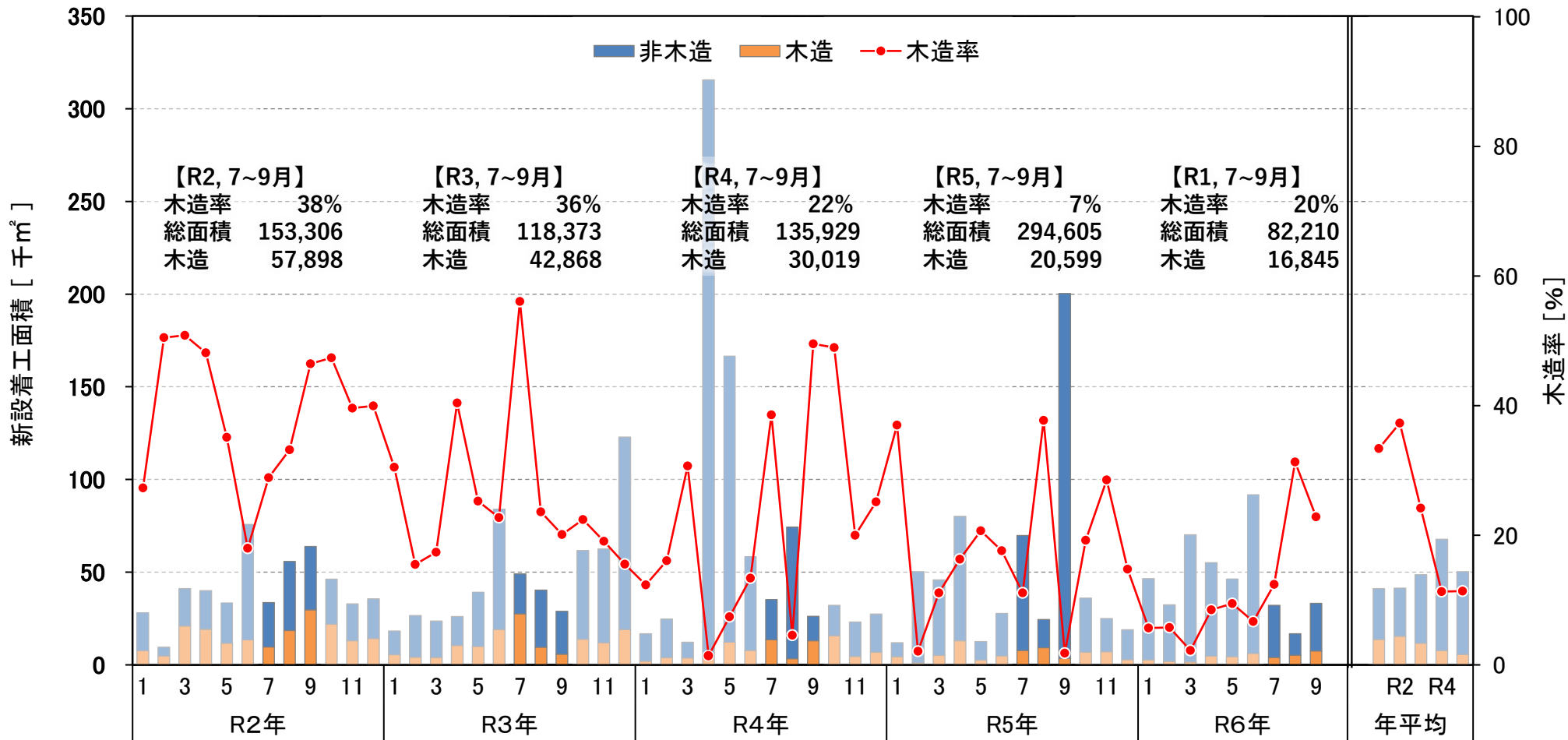


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 岩手県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より212,395㎡減少した。  
この期間の木造は3,754㎡減少し、木造率は13%増加した。

## 岩手県

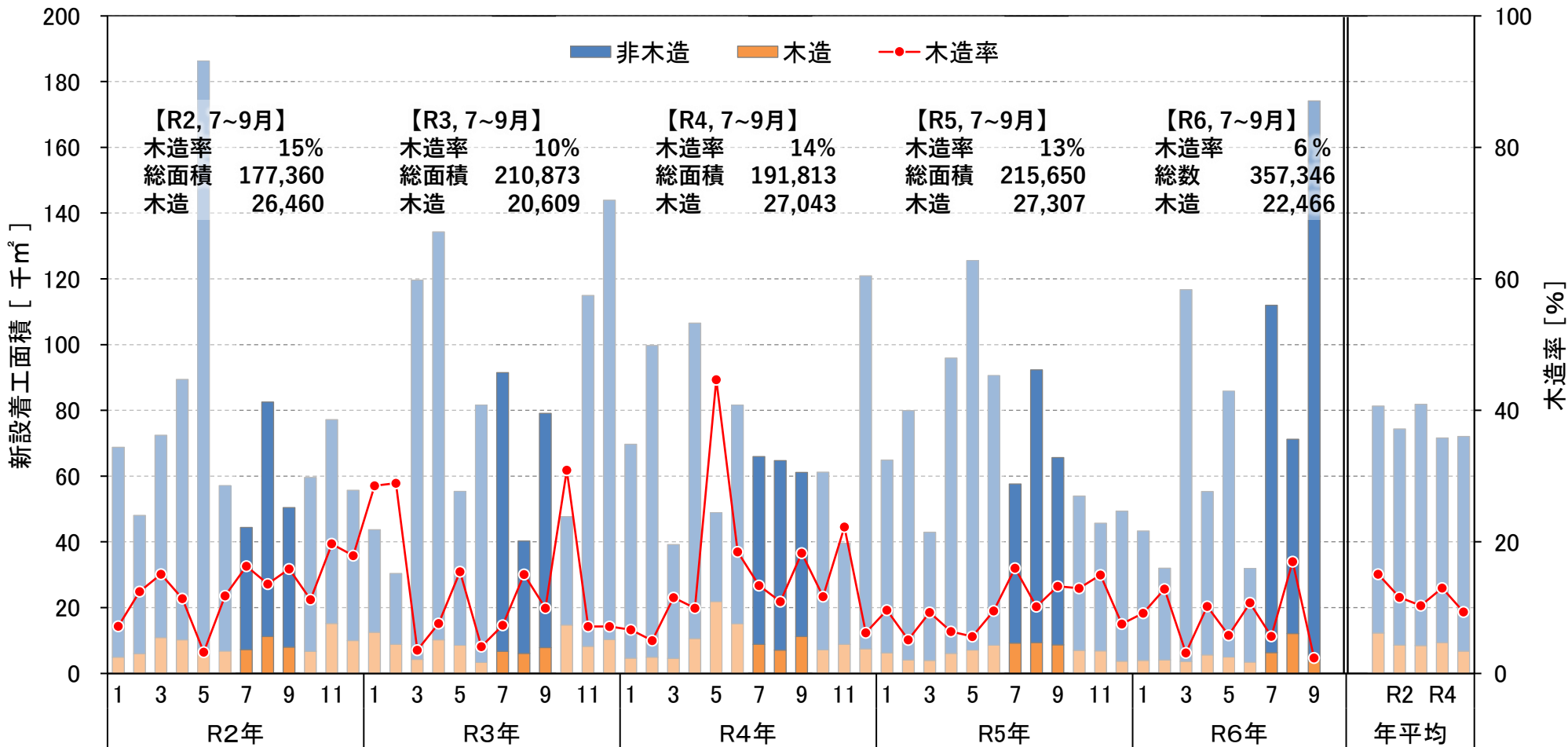


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 宮城県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より141,696㎡増加した。この期間の木造は4,841㎡減少し、木造率は7%減少した。

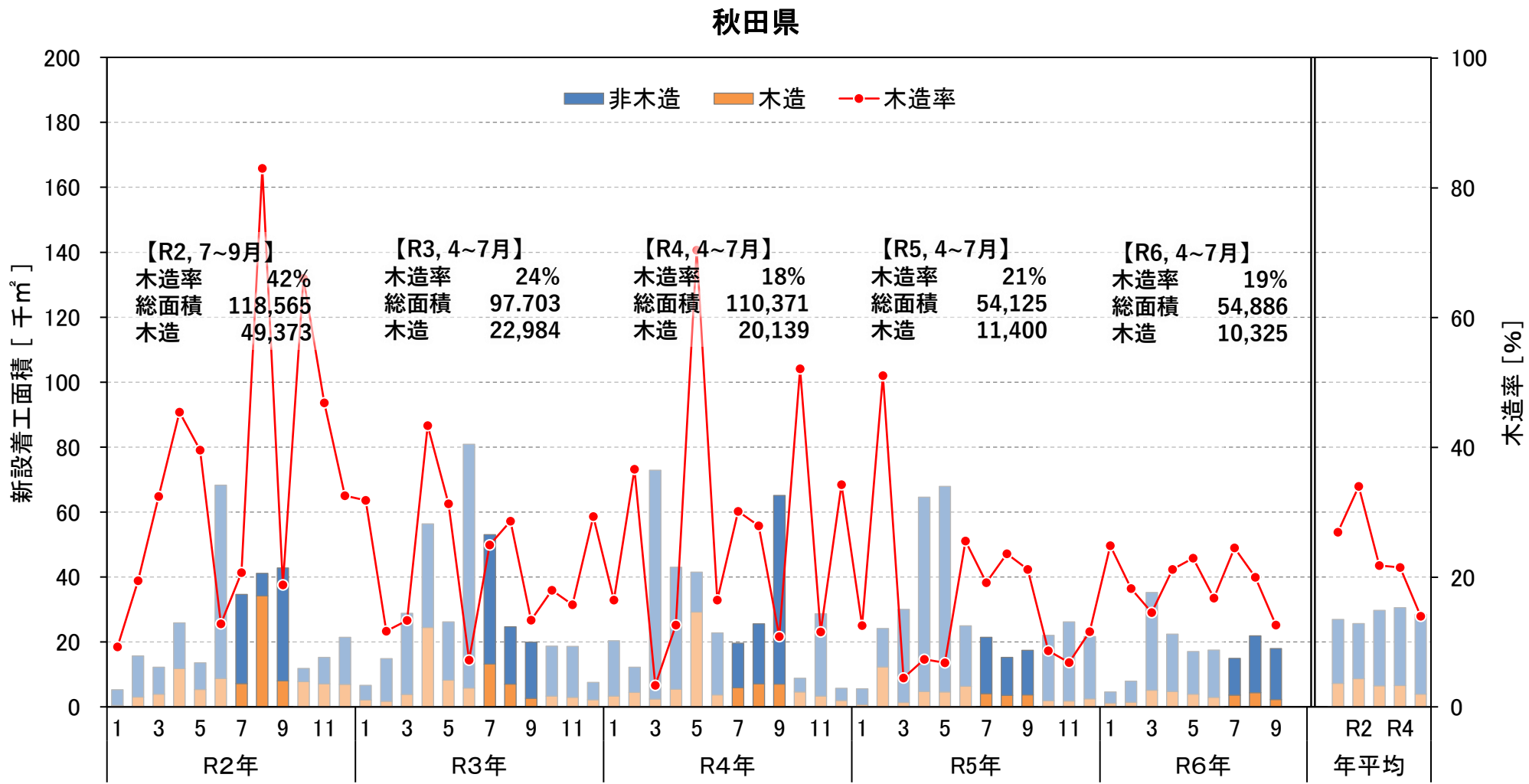
## 宮城県



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 秋田県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より761㎡増加した。  
この期間の木造は1,075㎡減少し、木造率は2%減少した。

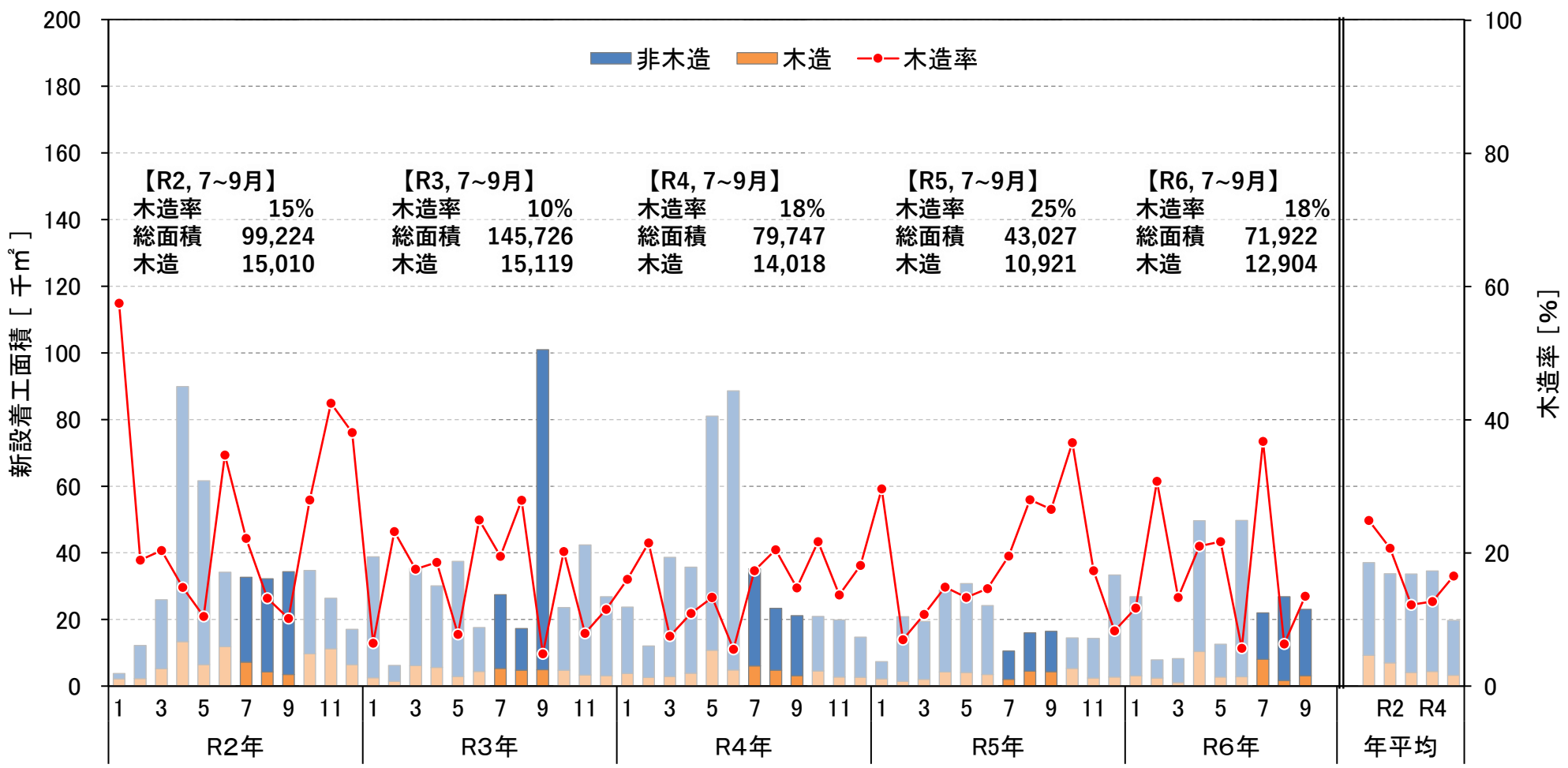


出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 山形県の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より28,895㎡増加した。この期間の木造は1,983㎡増加し、木造率は7%減少した。

## 山形県



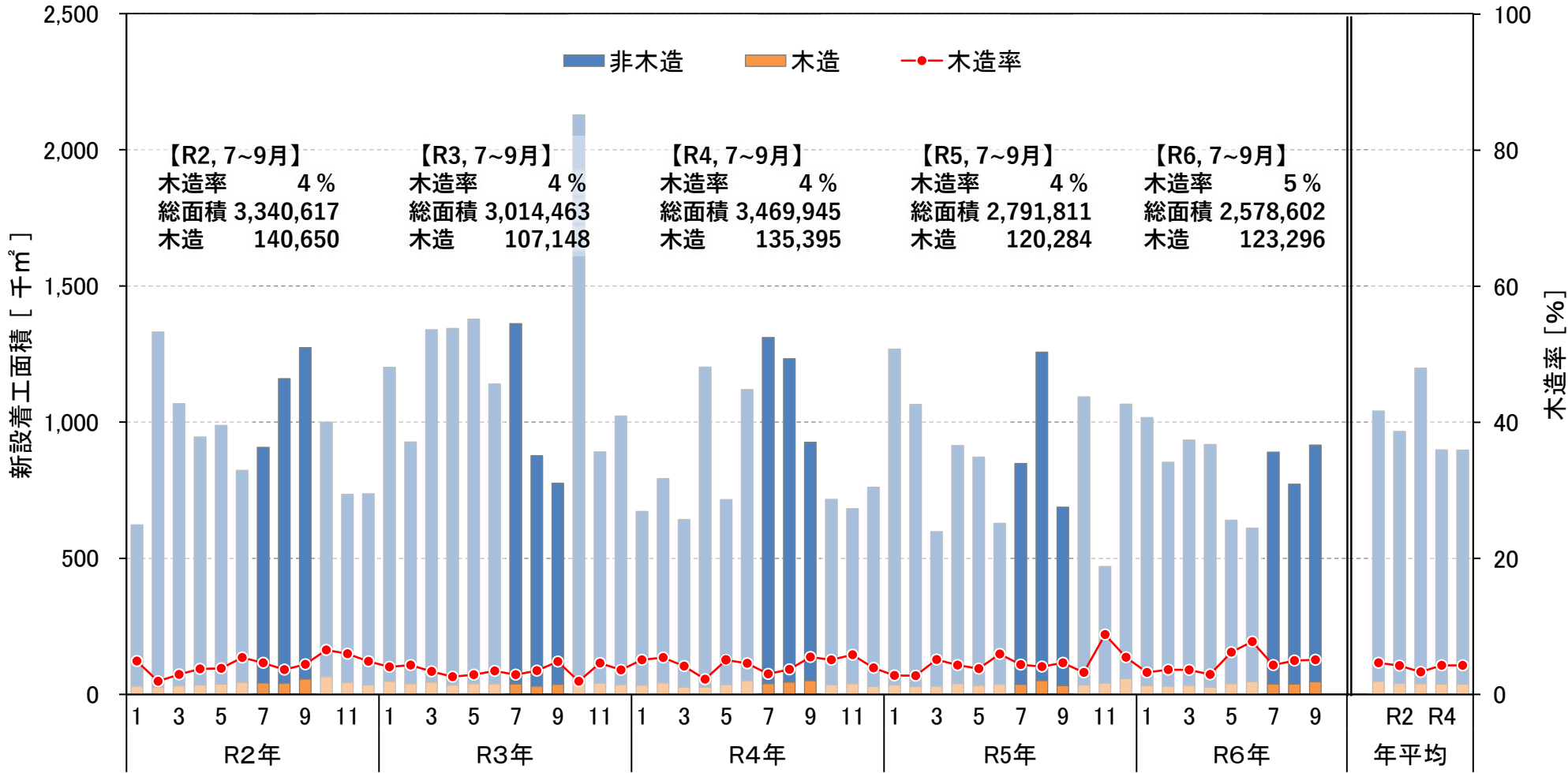
出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 関東主要都市の令和6年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より213,209㎡減少した。この期間の木造は3,012㎡増加し、木造率は1%増加した。

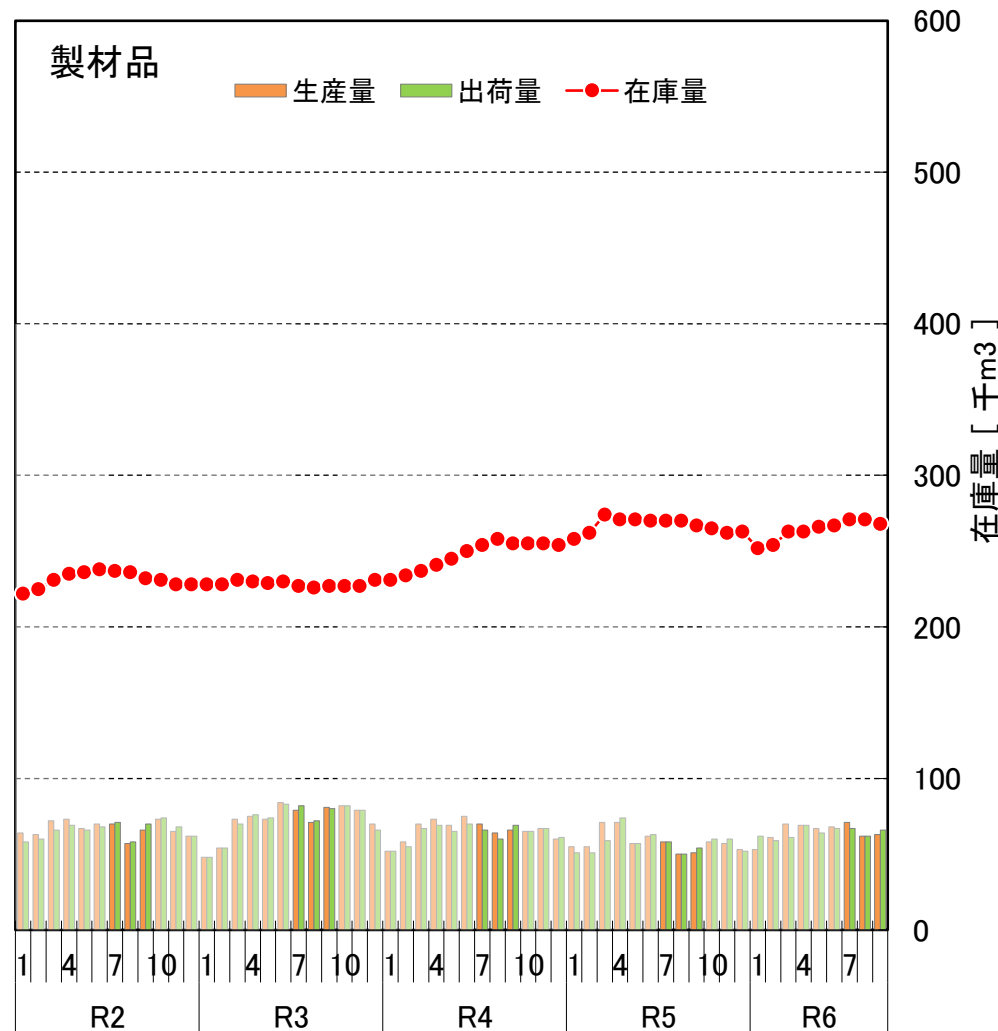
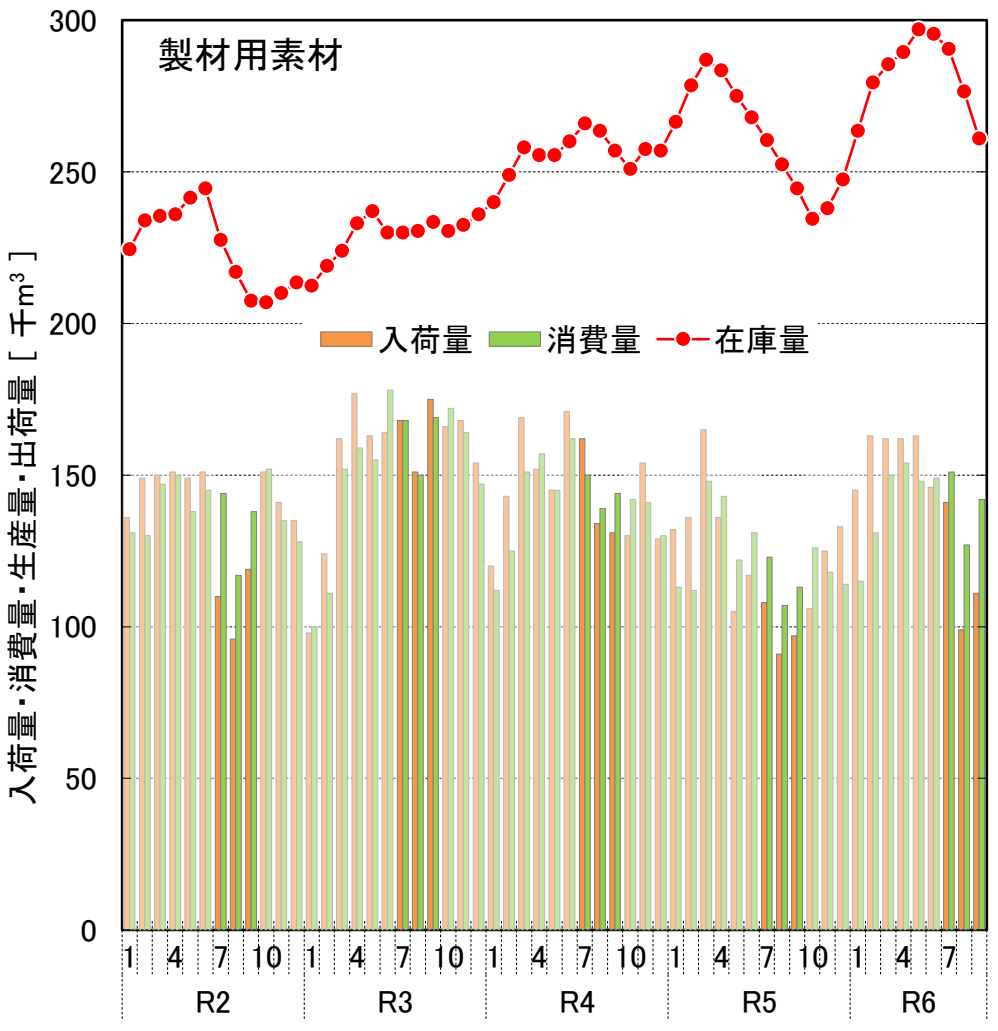
## 埼玉、千葉、東京、神奈川



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

○ 東北5県の製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比+19%、消費量は+22%、在庫量は9月比+7%。  
 ○ 製材品の令和6年7～9月の生産量は昨年同期比+23%、出荷量は+20%、在庫量は9月比±0%。

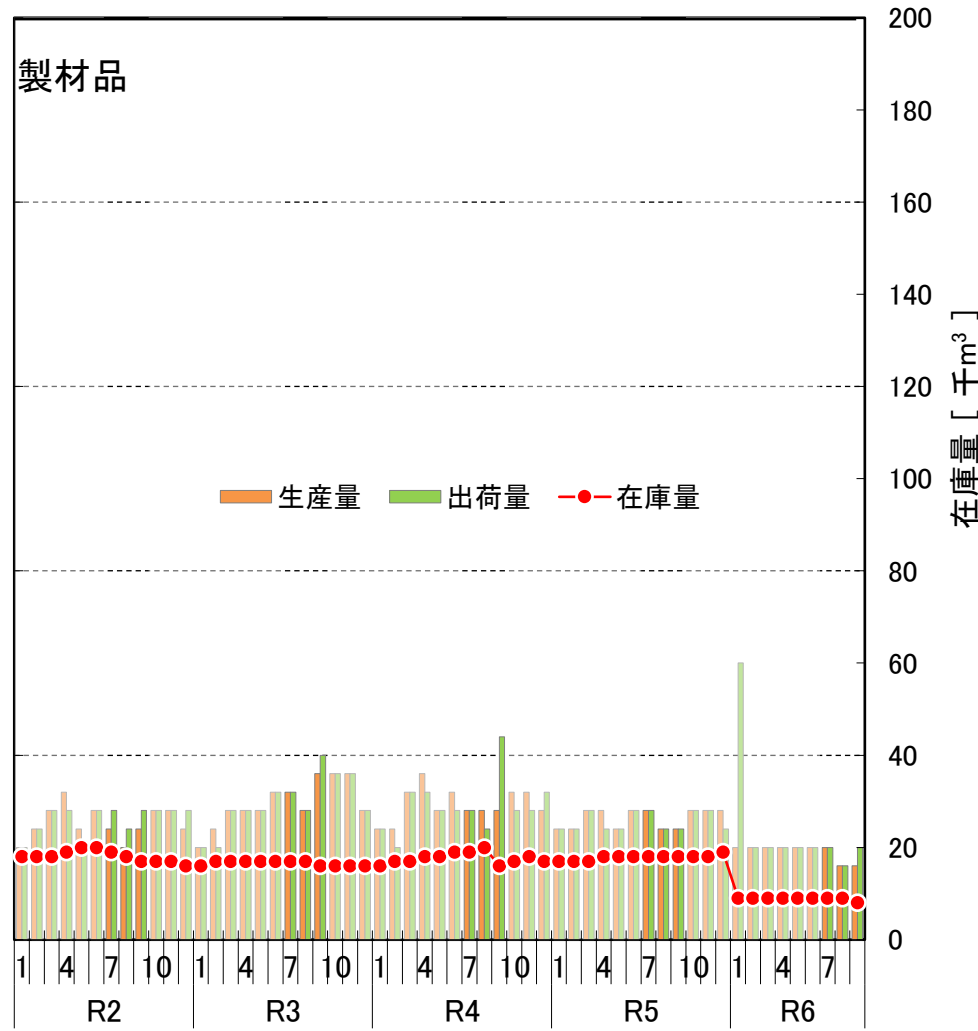
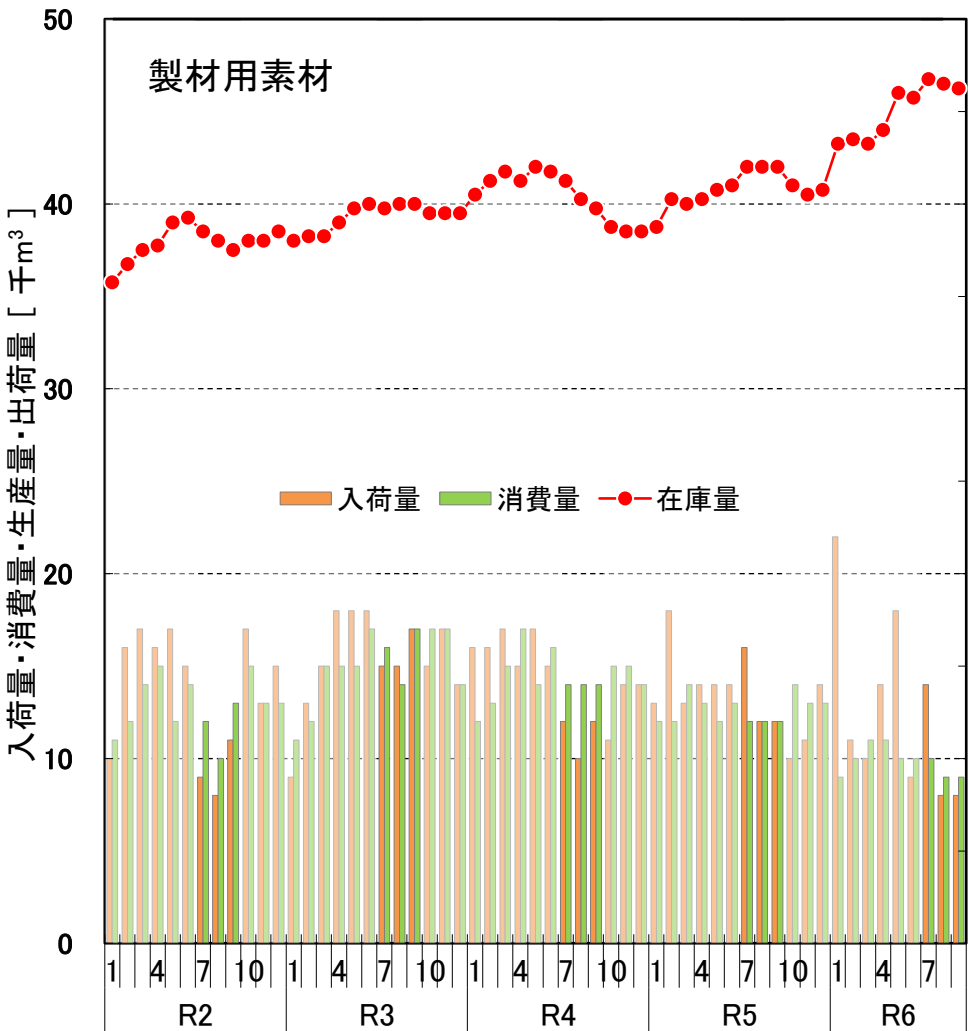


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# ■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

- 製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比－25%、消費量は－22%、在庫量は9月比＋10%。
- 製材品の令和6年7～9月の生産量は昨年同期比－32%、出荷量は－26%、在庫量は9月比－56%。

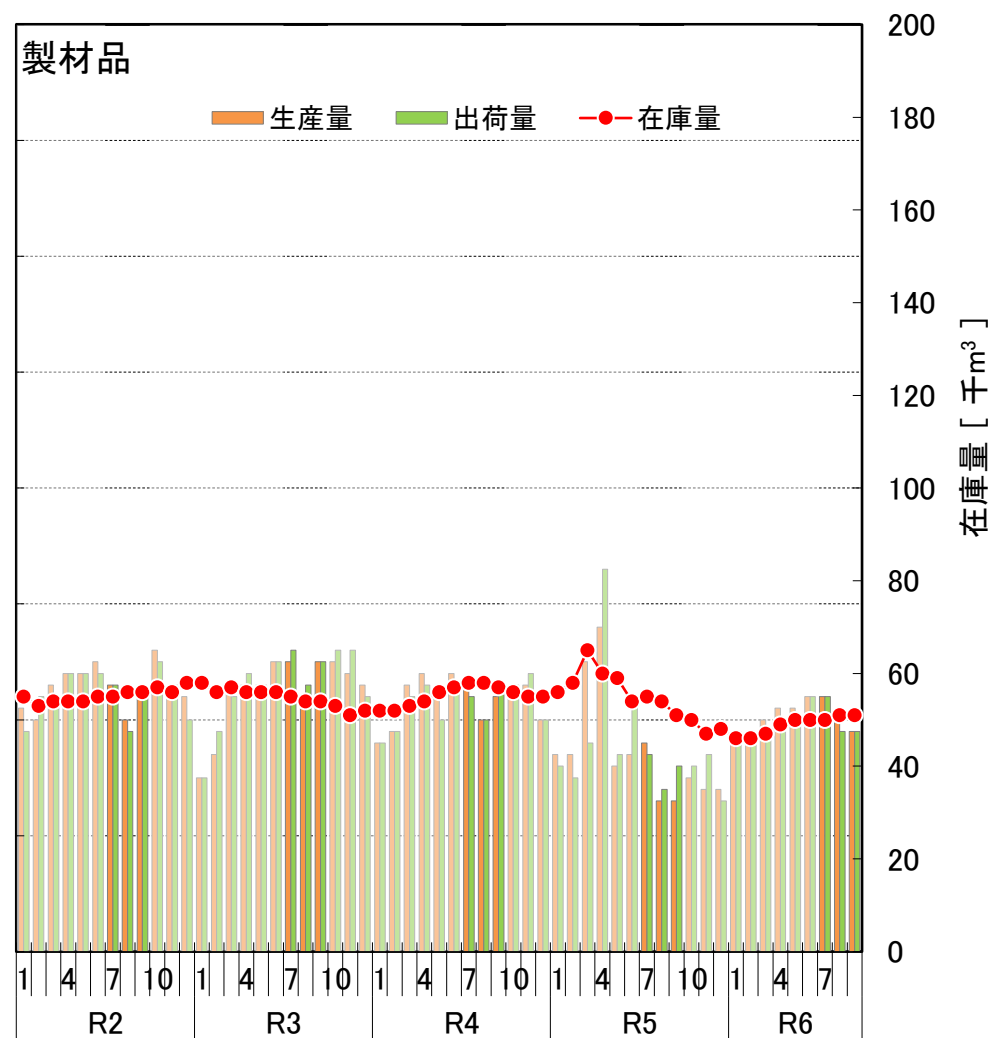
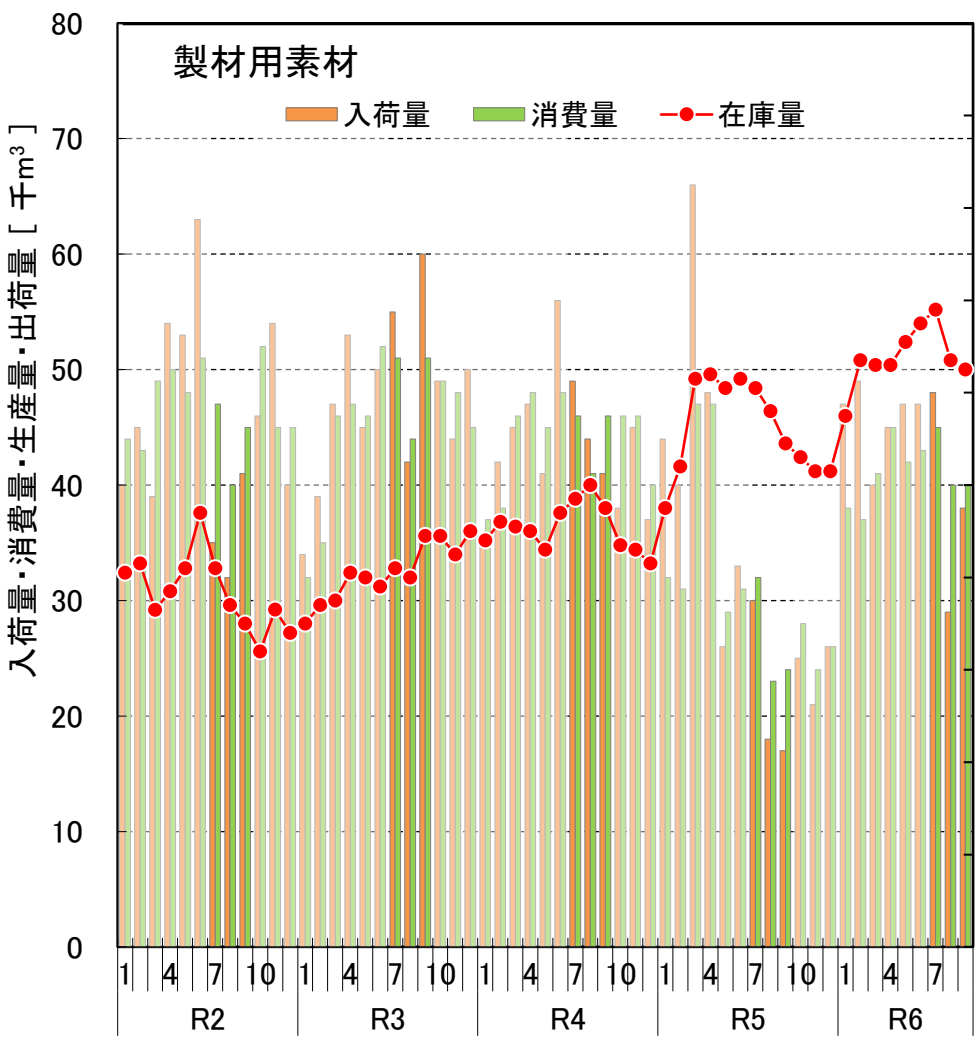


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# ■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

○ 製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比+77%、消費量は+58%、在庫量は9月比+15%。  
 ○ 製材品の令和6年7～9月の生産量は昨年同期比+39%、出荷量は+28%、在庫量は9月比±0%。

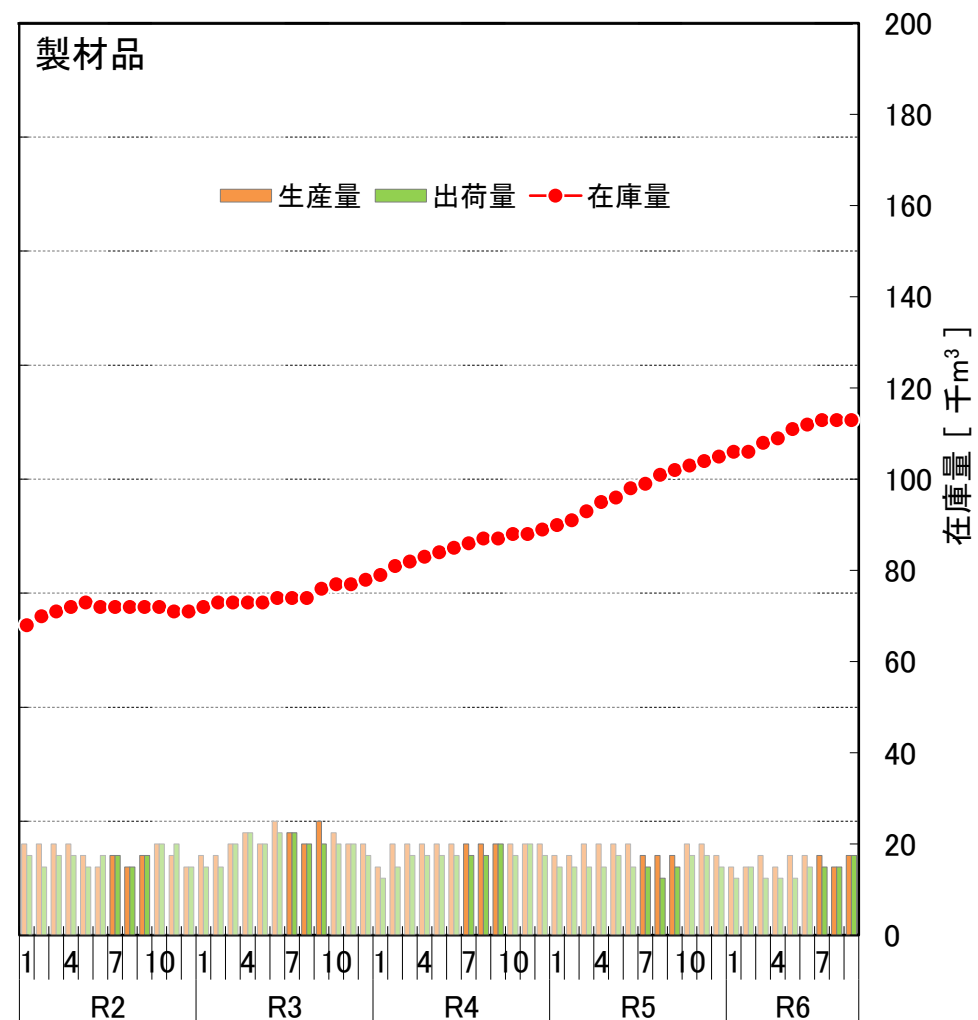
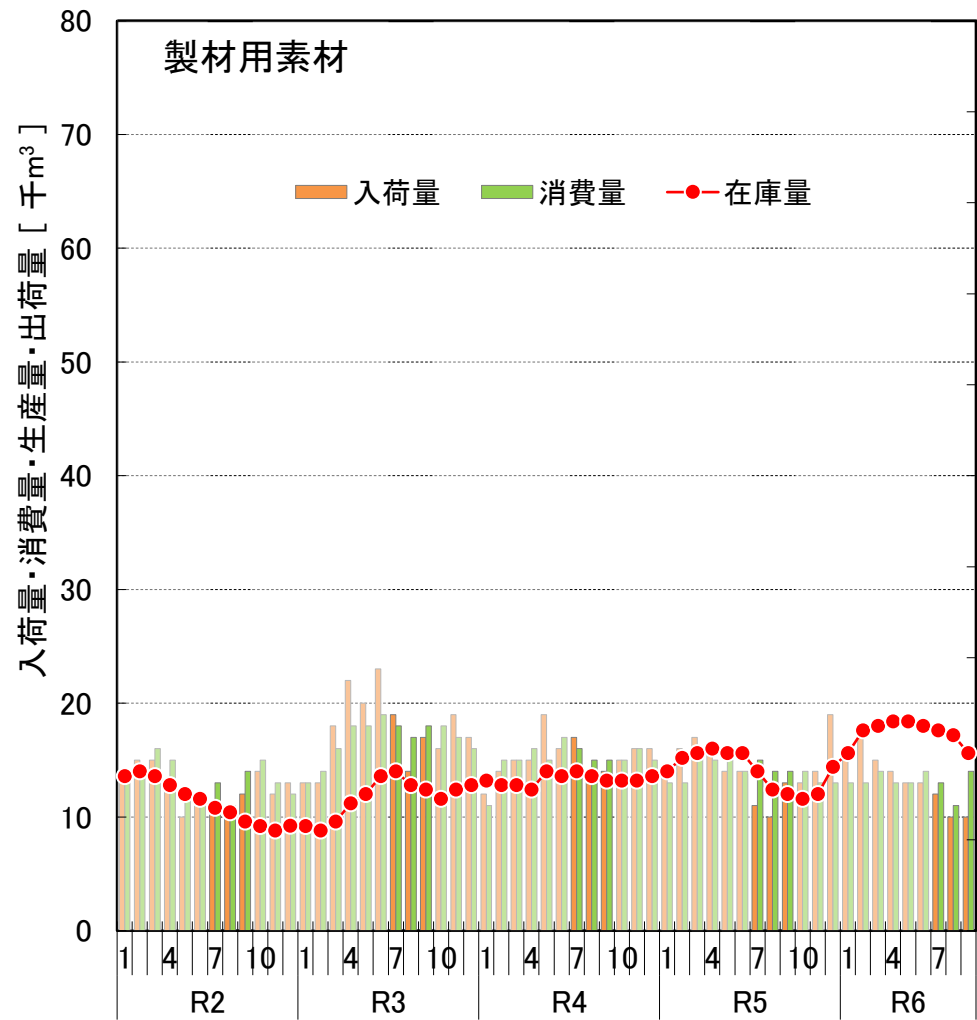


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# ■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

- 製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比－6%、消費量は－12%、在庫量は9月比＋30%。
- 製材品の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比－5%、消費量は＋12%、在庫量は9月比＋11%。

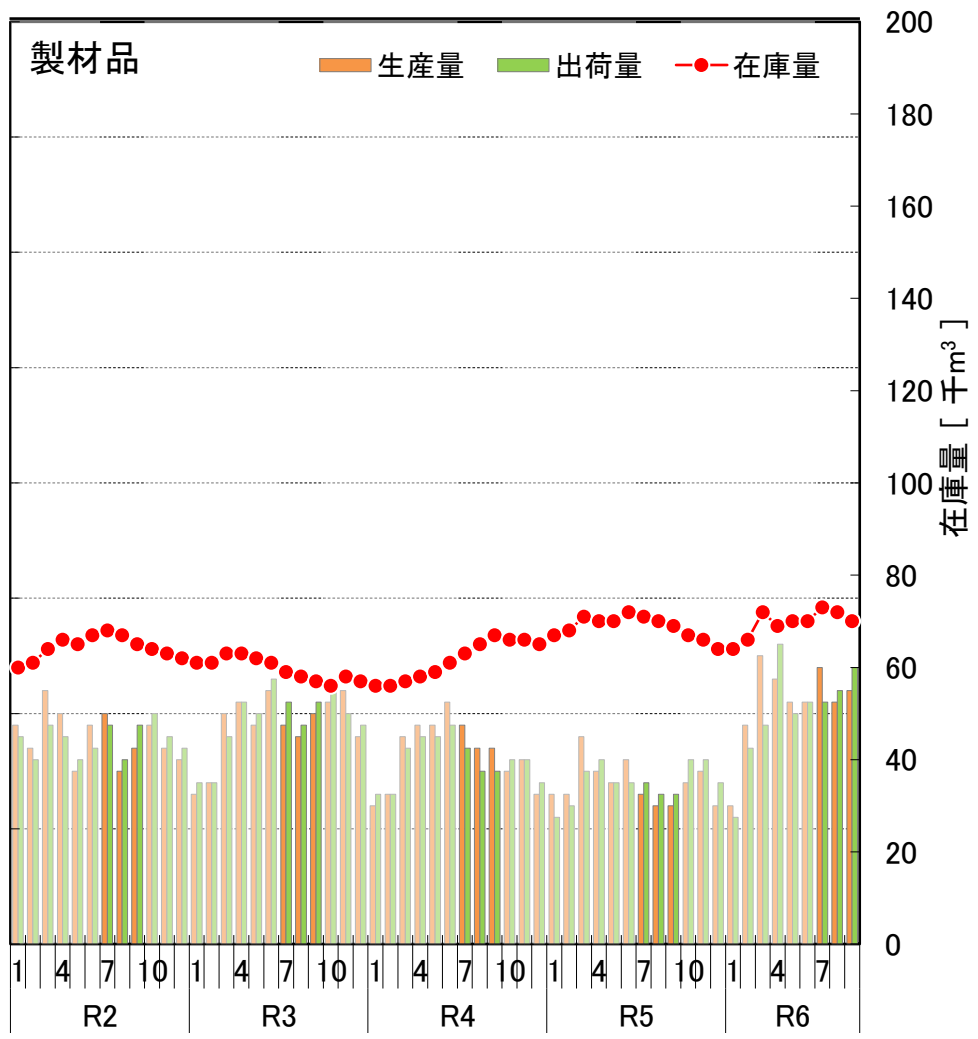
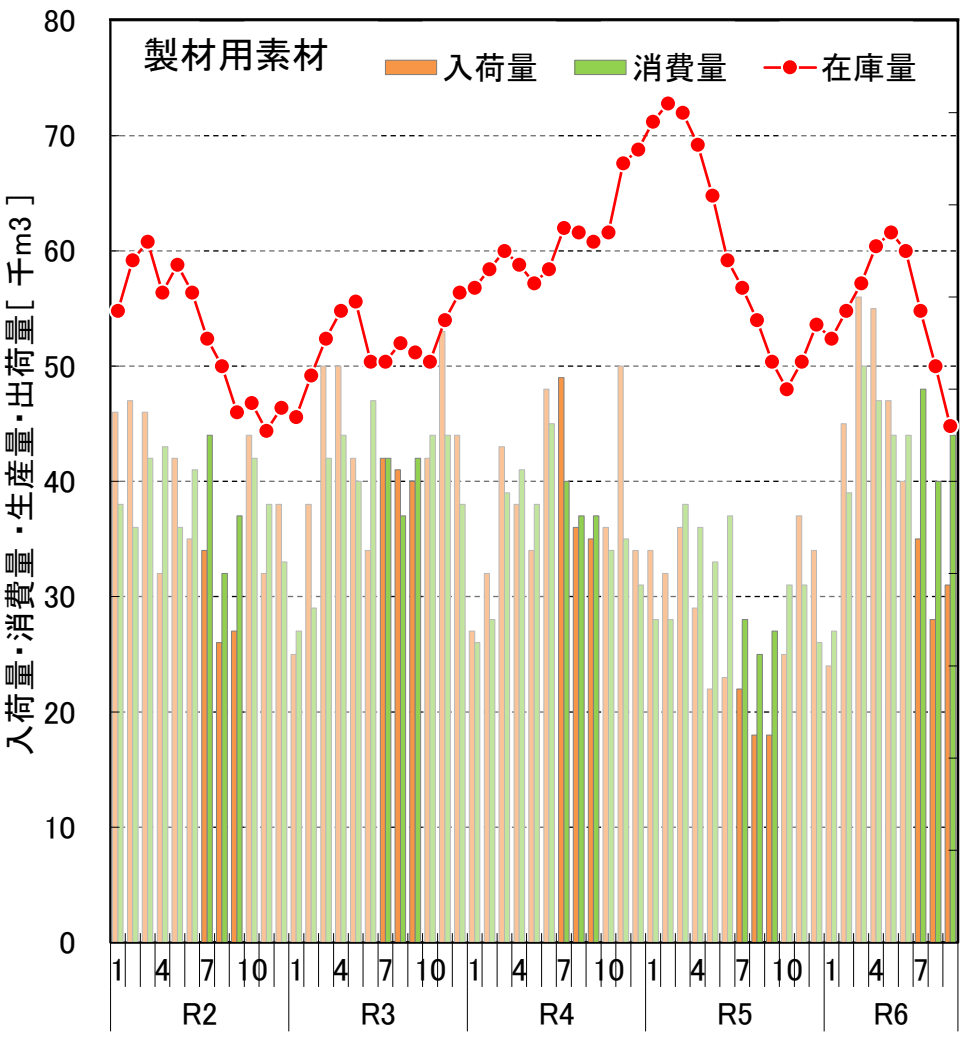


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# ■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

○ 製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比+62%、消費量は+65%、在庫量は9月比-11%。  
 ○ 製材品の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比+81%、消費量は+68%、在庫量は9月比+1%。

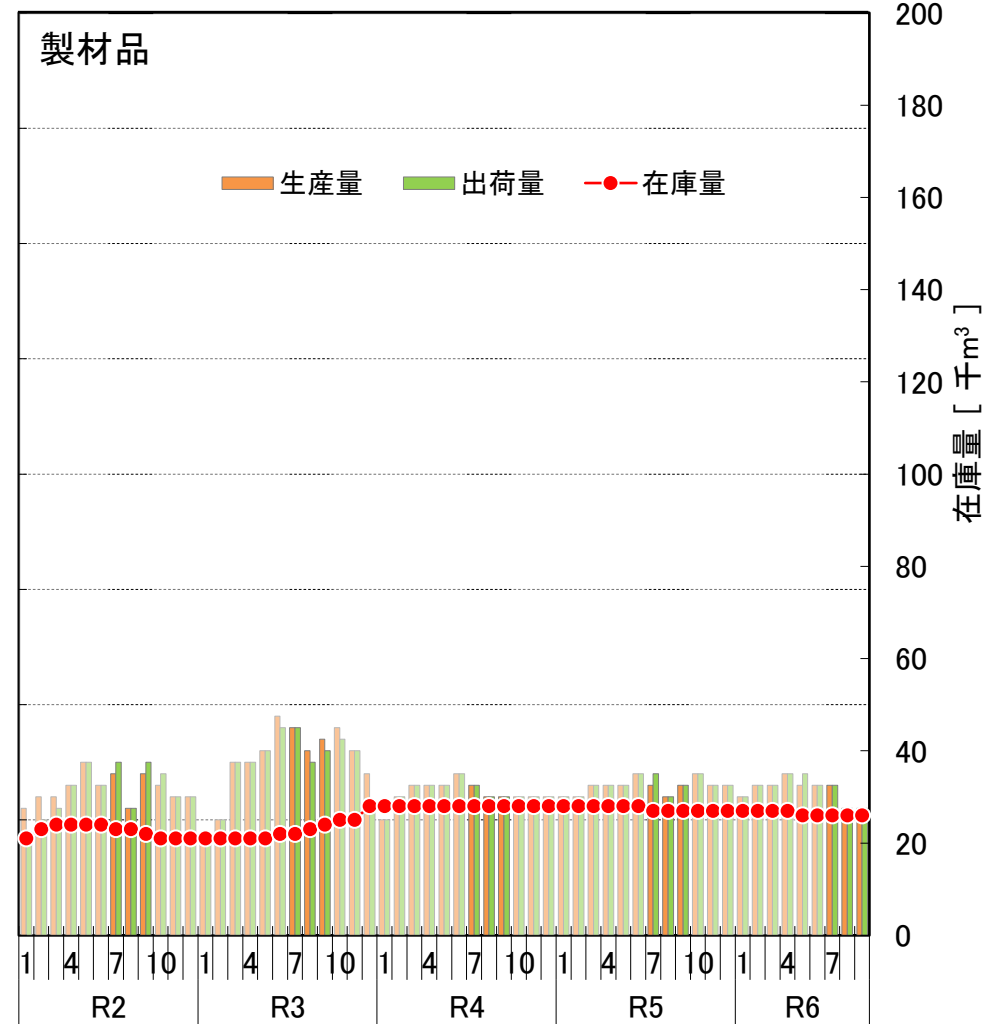
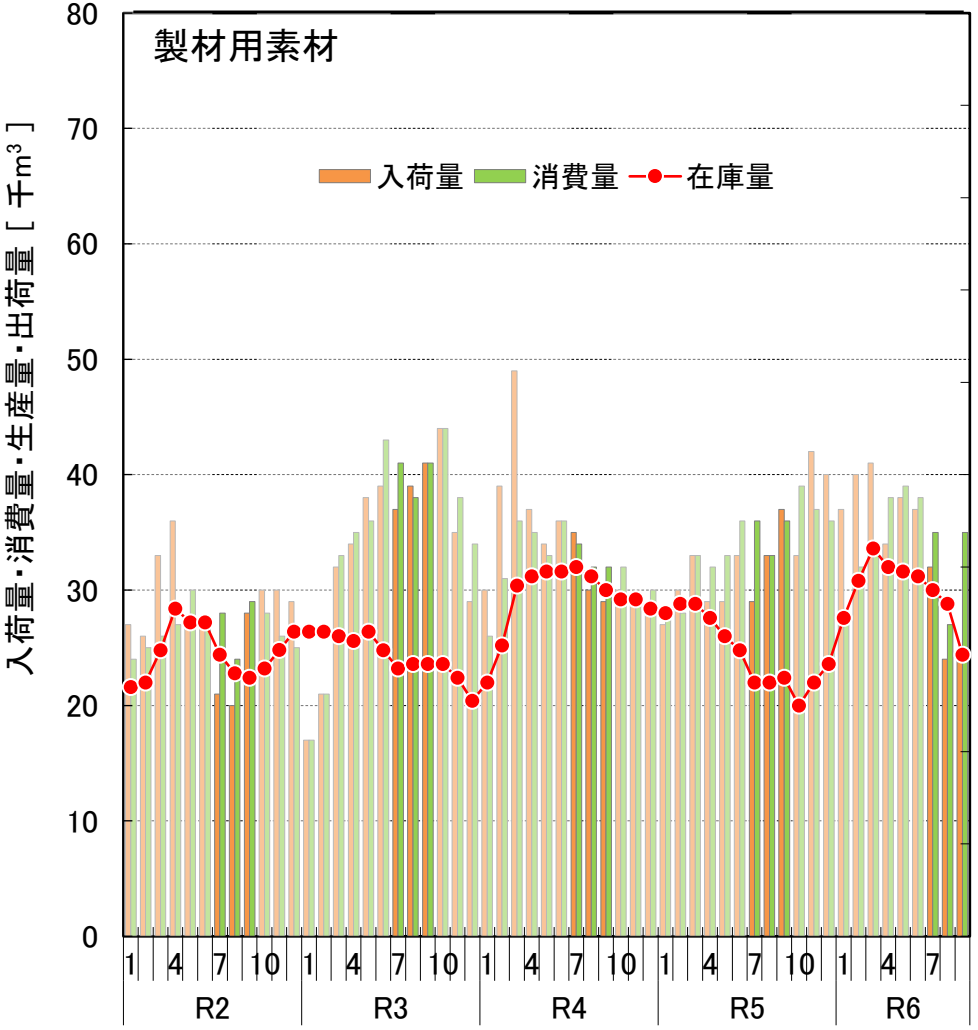


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

○ 製材用素材の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比－19%、消費量は－8%、在庫量は9月比＋9%。  
 ○ 製材品の令和6年7～9月の入荷量は昨年同期比－8%、消費量は－10%、在庫量は9月比－4%。



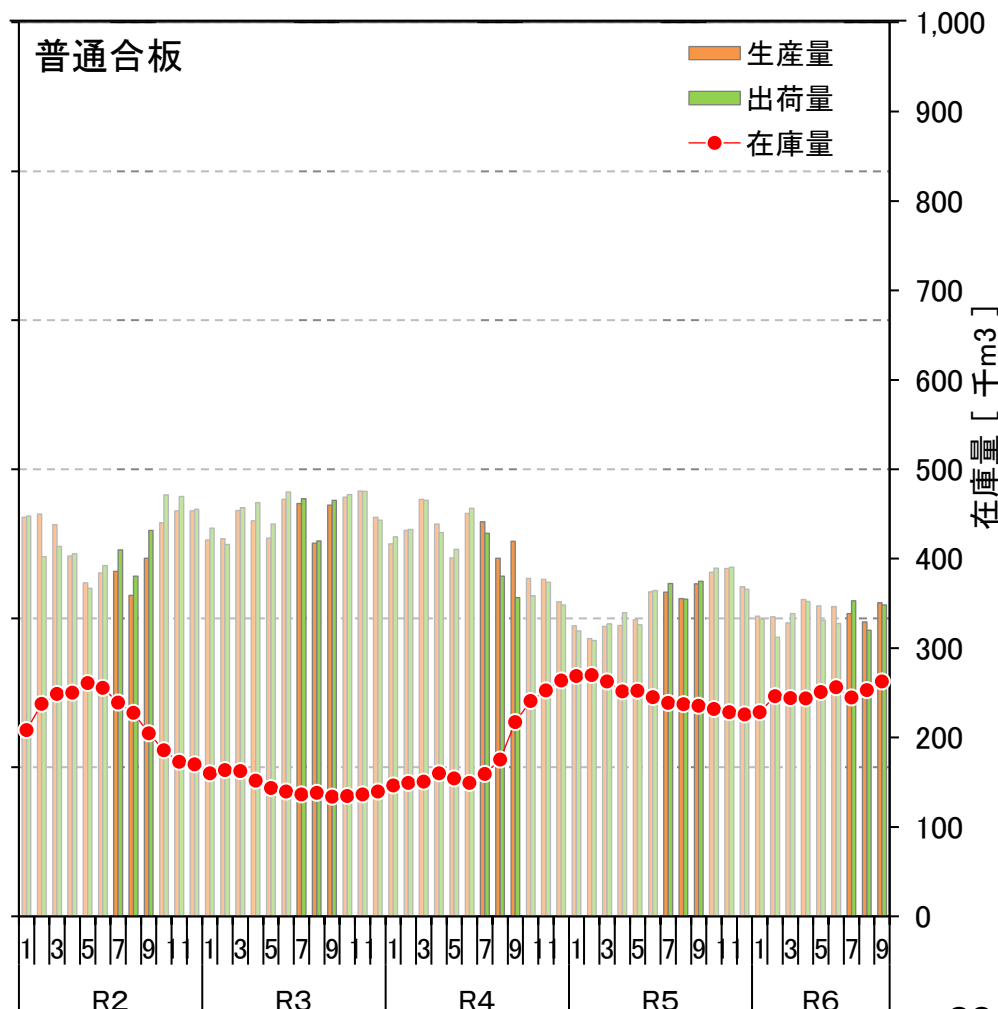
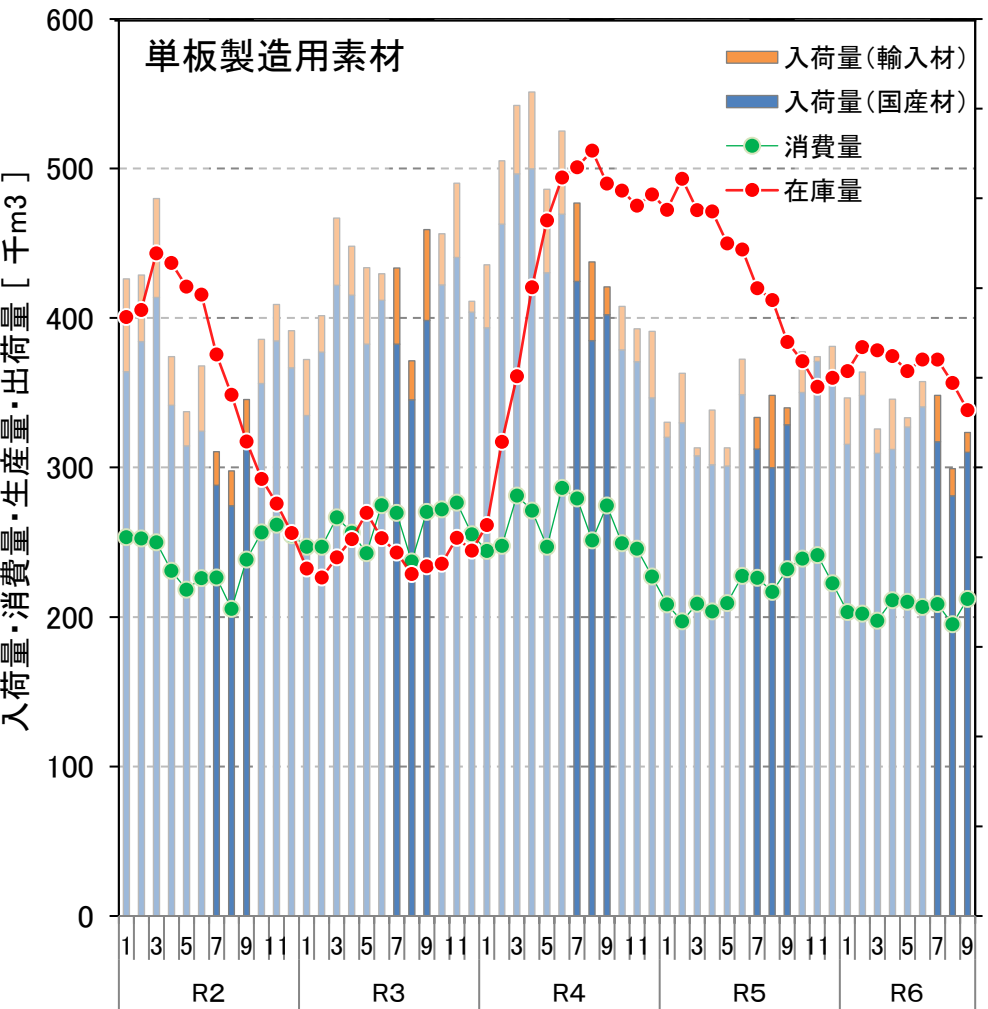
出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

# ■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年9月）

○ 単板製造用素材の令和6年7～9月期の入荷量は去年同期比－5%、うち国産材は－3%、消費量は－9%、在庫量は9月比－12%。

○ 普通合板の令和6年7～9月期の生産量は去年同期比－7%、出荷量は－7%、在庫量は9月比＋11%。



出典：農林水産省「合板統計」

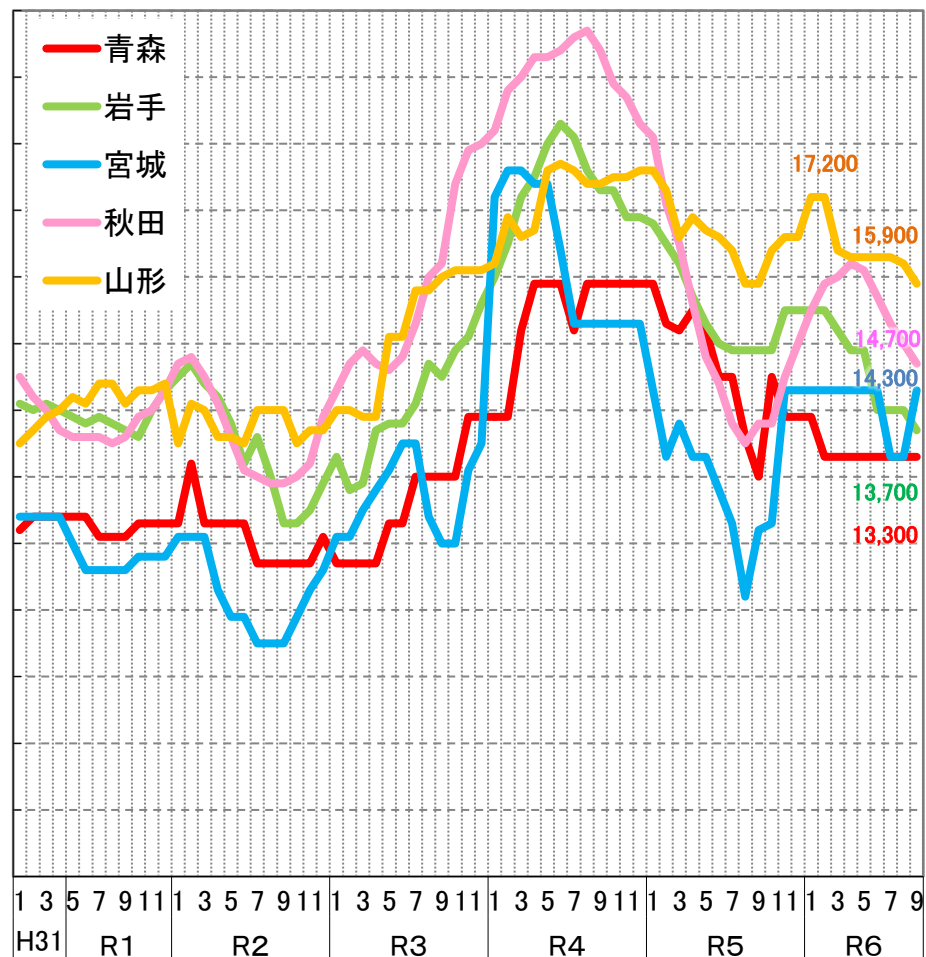
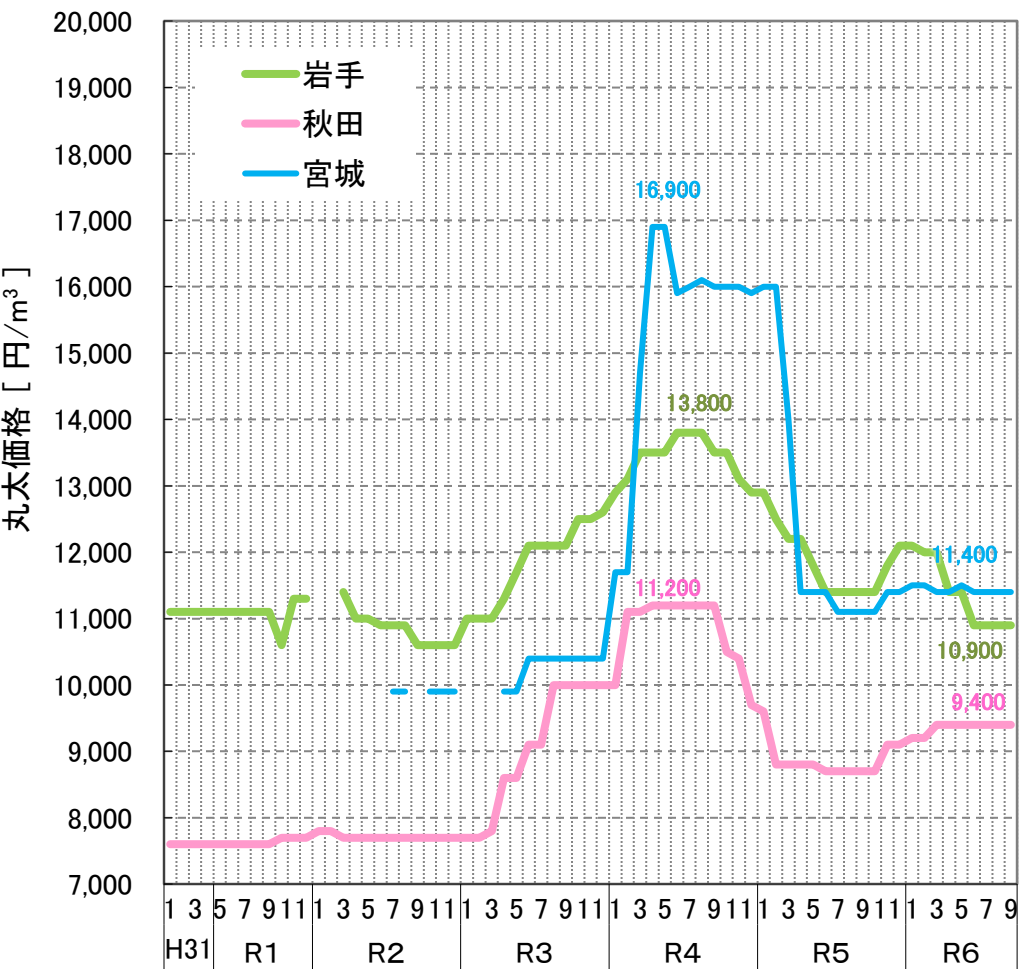


## ■ すぎ丸太価格の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ すぎ小丸太価格は、岩手では3～6月まで下落、6月以降は横ばい。宮城、秋田では3月以降横ばい。  
 ○ すぎ中丸太価格は、5月以降秋田、岩手、山形では下落、青森では横ばい。宮城では7月以降反発がみられる。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



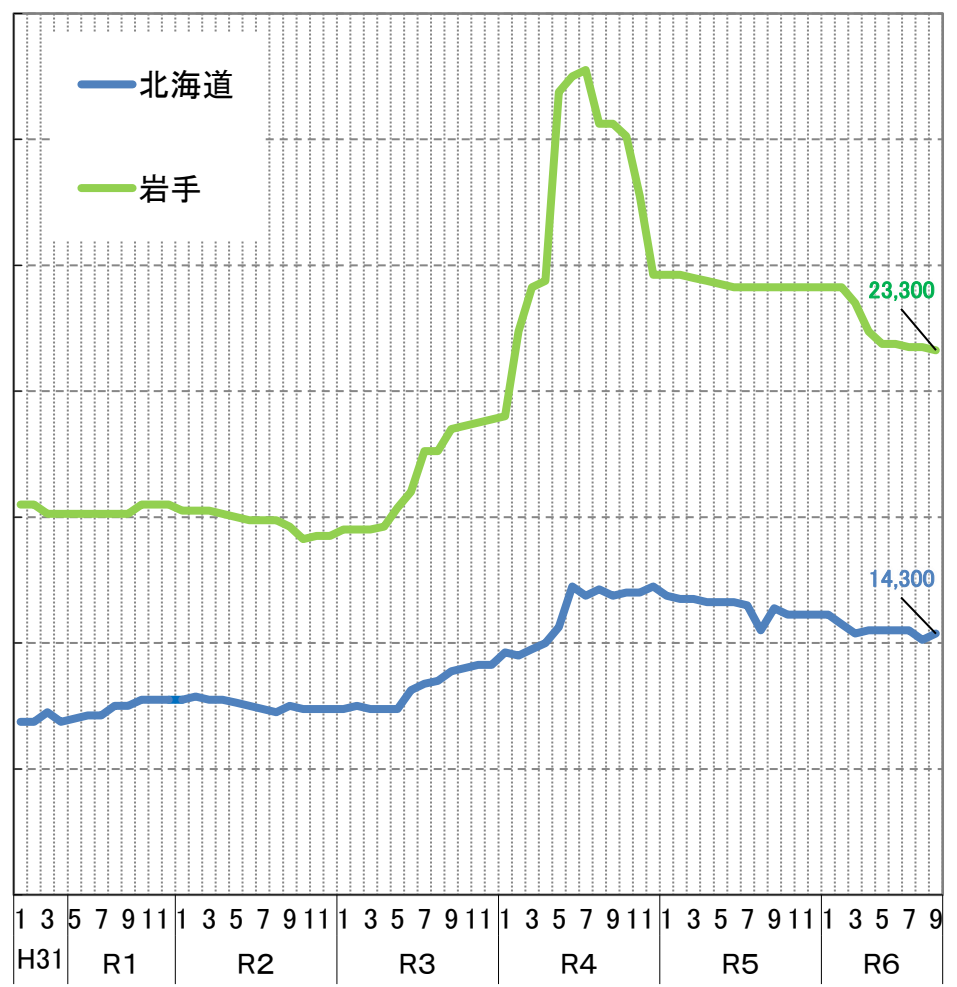
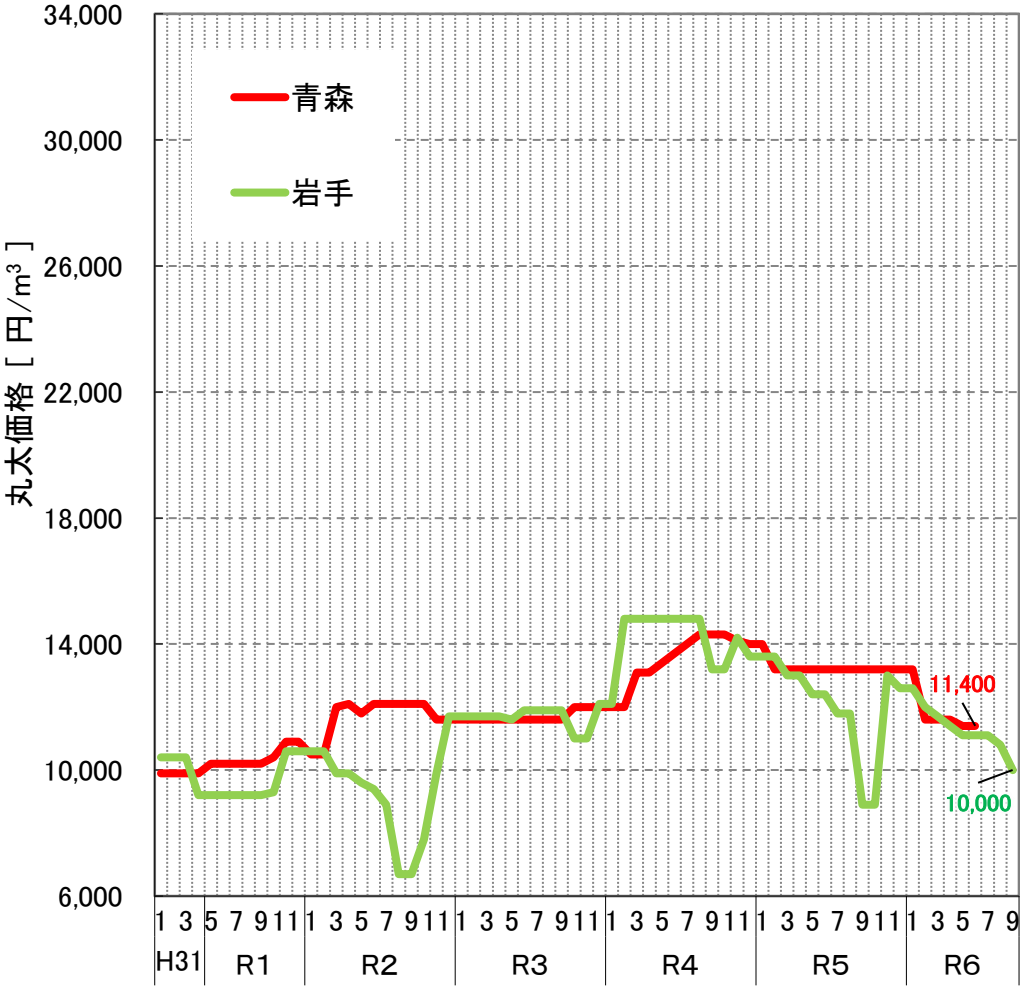
出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# ■ まつ・からまつ丸太価格の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ まつ中丸太価格は、岩手では7月以降下落。青森では7月以降データがない。  
 ○ からまつ丸太価格は3月以降、北海道では横ばい、岩手では弱含みの傾向がみられる。岩手と北海道の価格差は9,000円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

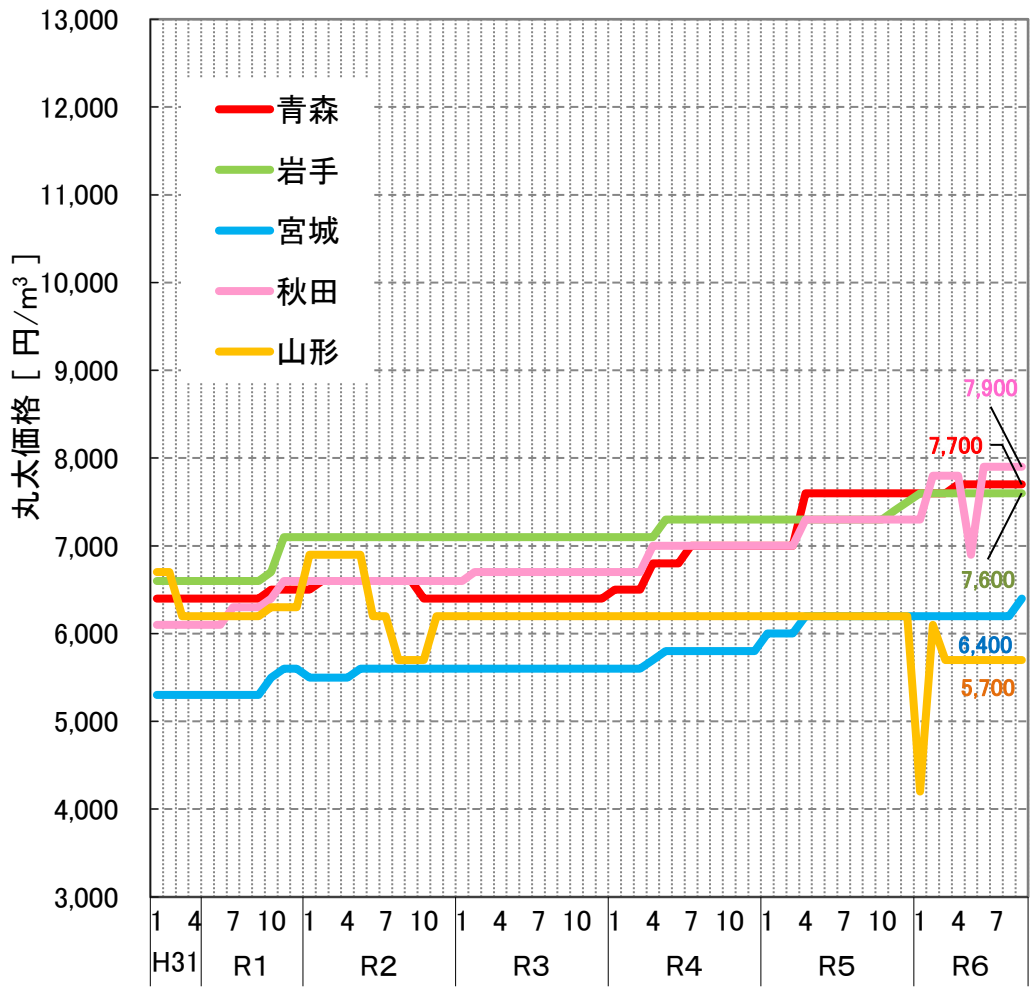


出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

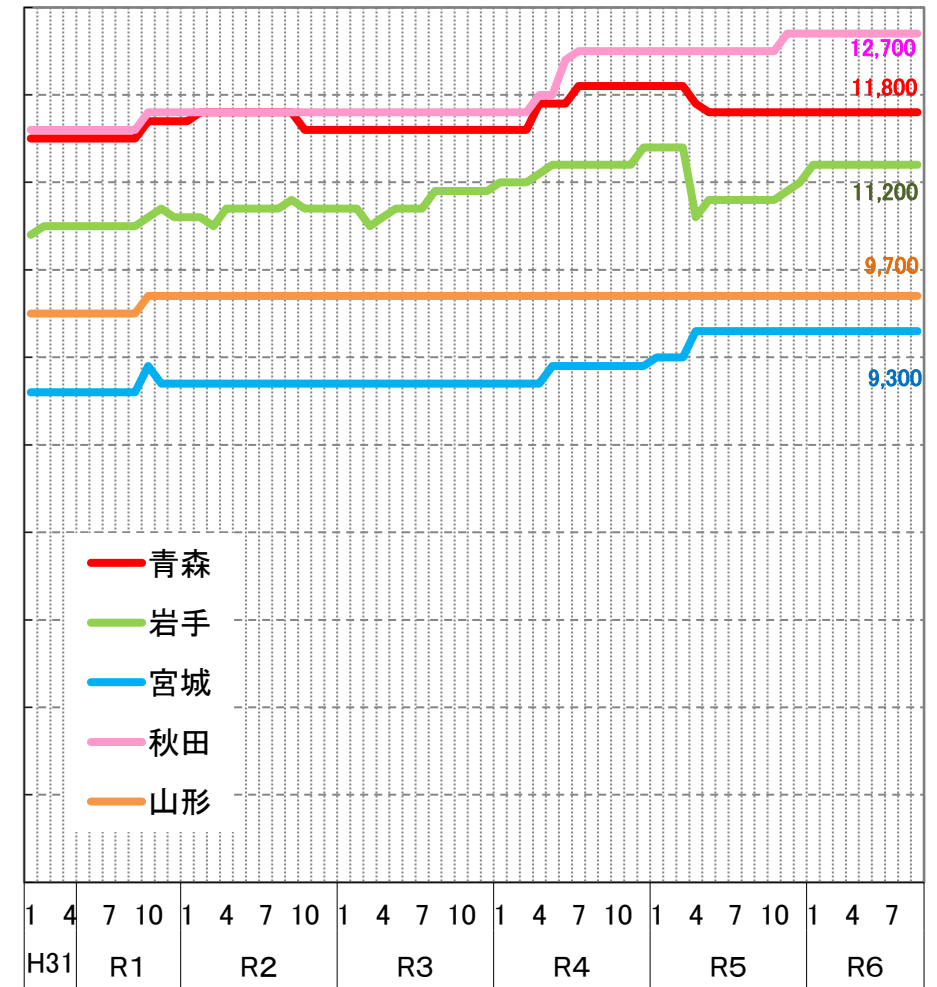
# ■チップ用丸太価格の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ チップ用丸太価格は針葉樹・広葉樹ともほとんどの県で横ばいだが、針葉樹については、秋田では6月に、青森は4月にそれぞれ値上がりした価格を維持し、宮城では7月以降強含みの傾向がみられる。

### 針葉樹材



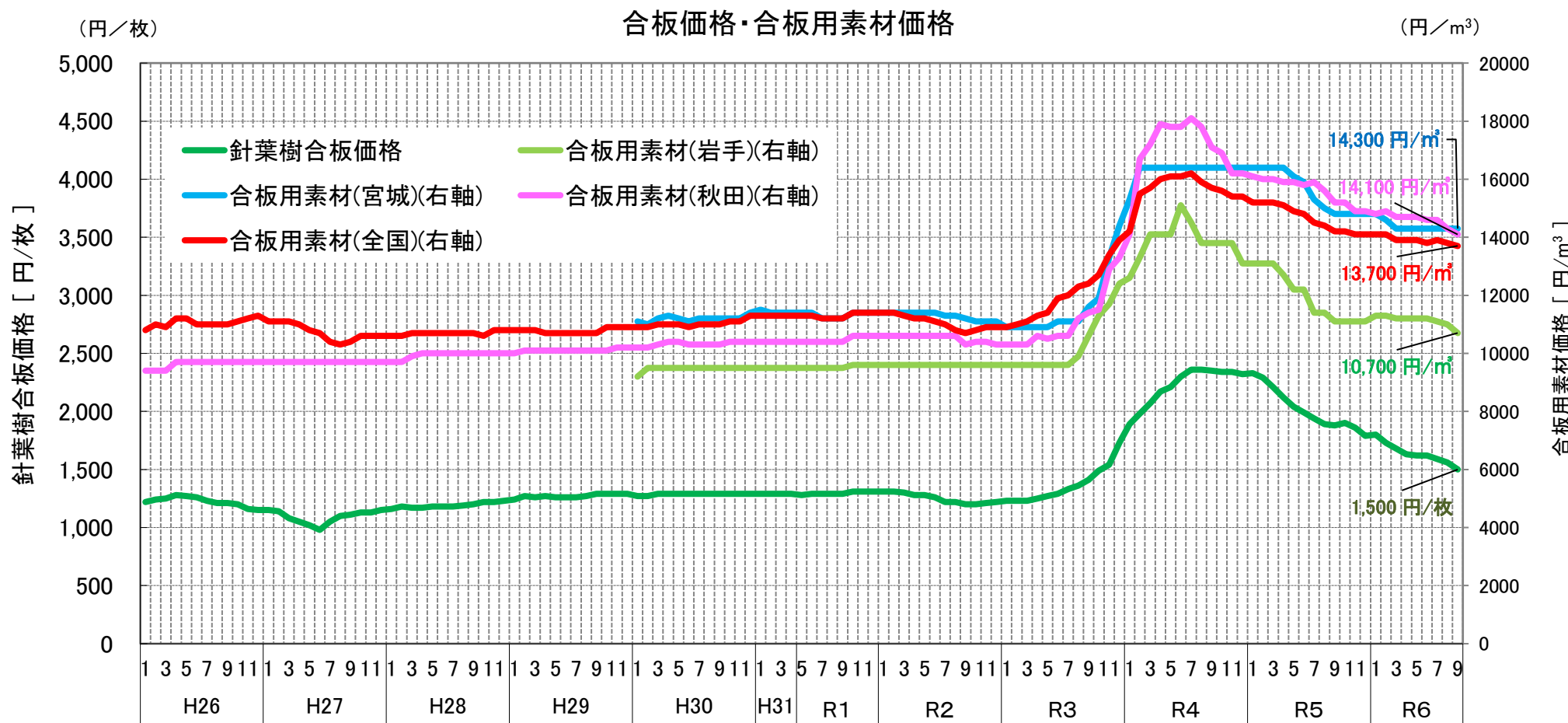
### 広葉樹材



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移 (平成26年1月～令和6年9月)

- 針葉樹合板価格は、1,500円/枚。
- 合板用素材価格は、3月以降宮城は横ばい、岩手、秋田は弱含み。全国でも弱含みの傾向にある。

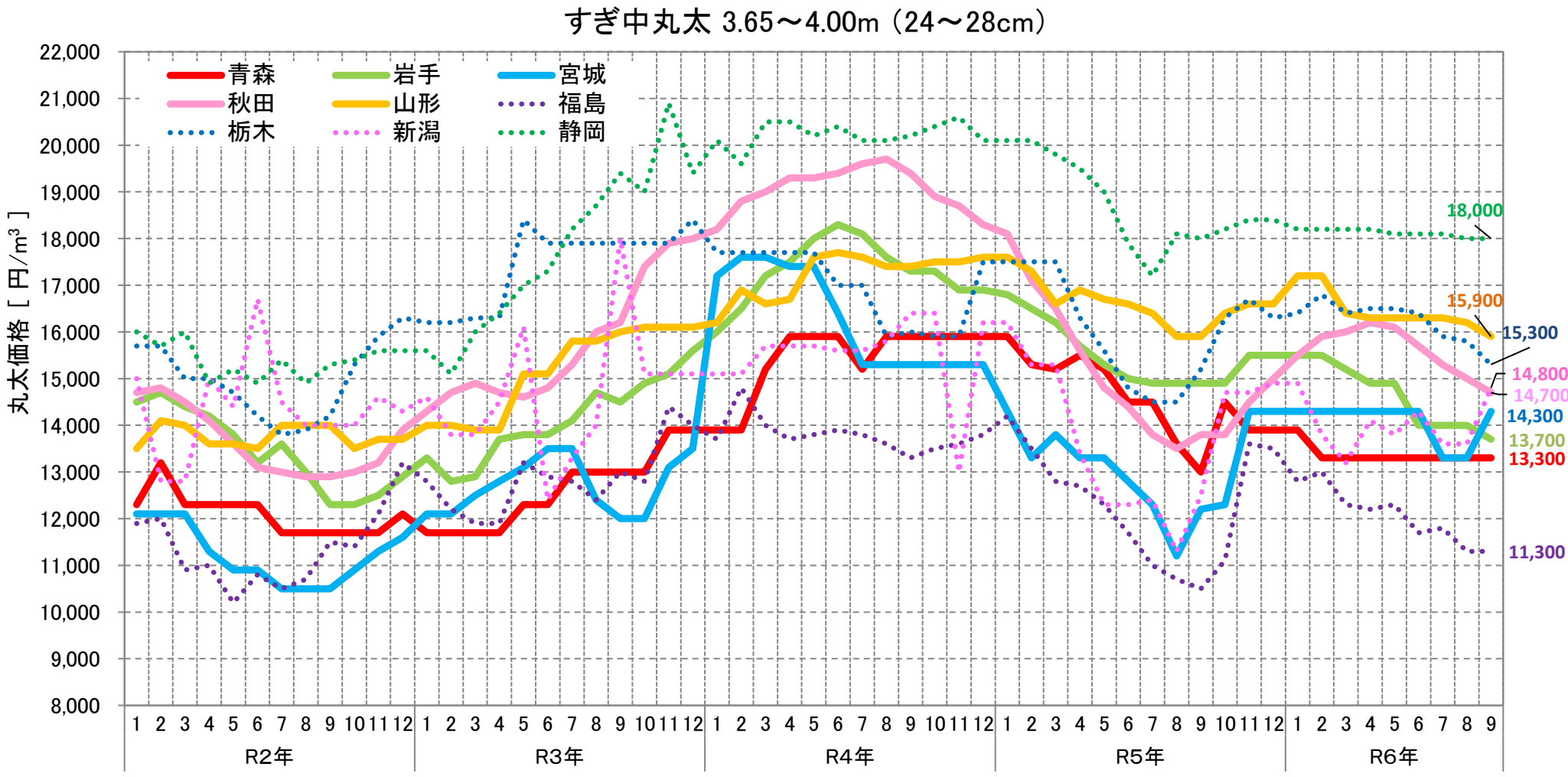


針葉樹合板：厚さ1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」  
 ※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。  
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

# ■ 関東地方との木材価格の比較 (令和2年1月～令和6年9月)

○ すぎ中丸太の価格は、4月以降各県で弱含み～保合の傾向がみられている。新潟は6月までは増減を繰り返しながらも7月以降強含み傾向、宮城は7月以降反発が見られる。

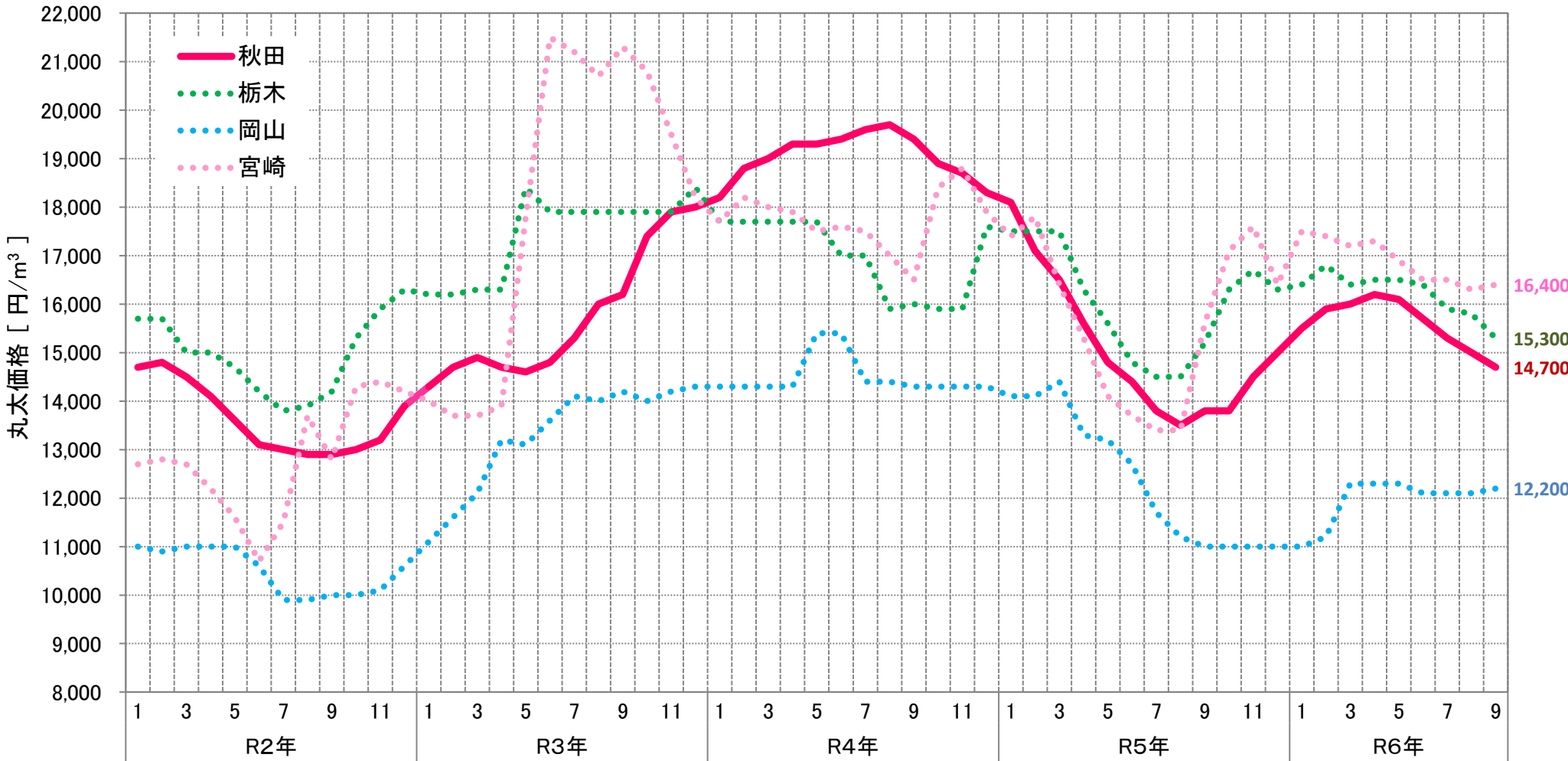


出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# ■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較 (令和2年1月～令和6年9月)

○ 3月までは値上がりしている県もあったが、4月以降は各県、弱保合～弱含みの傾向にある。

すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)

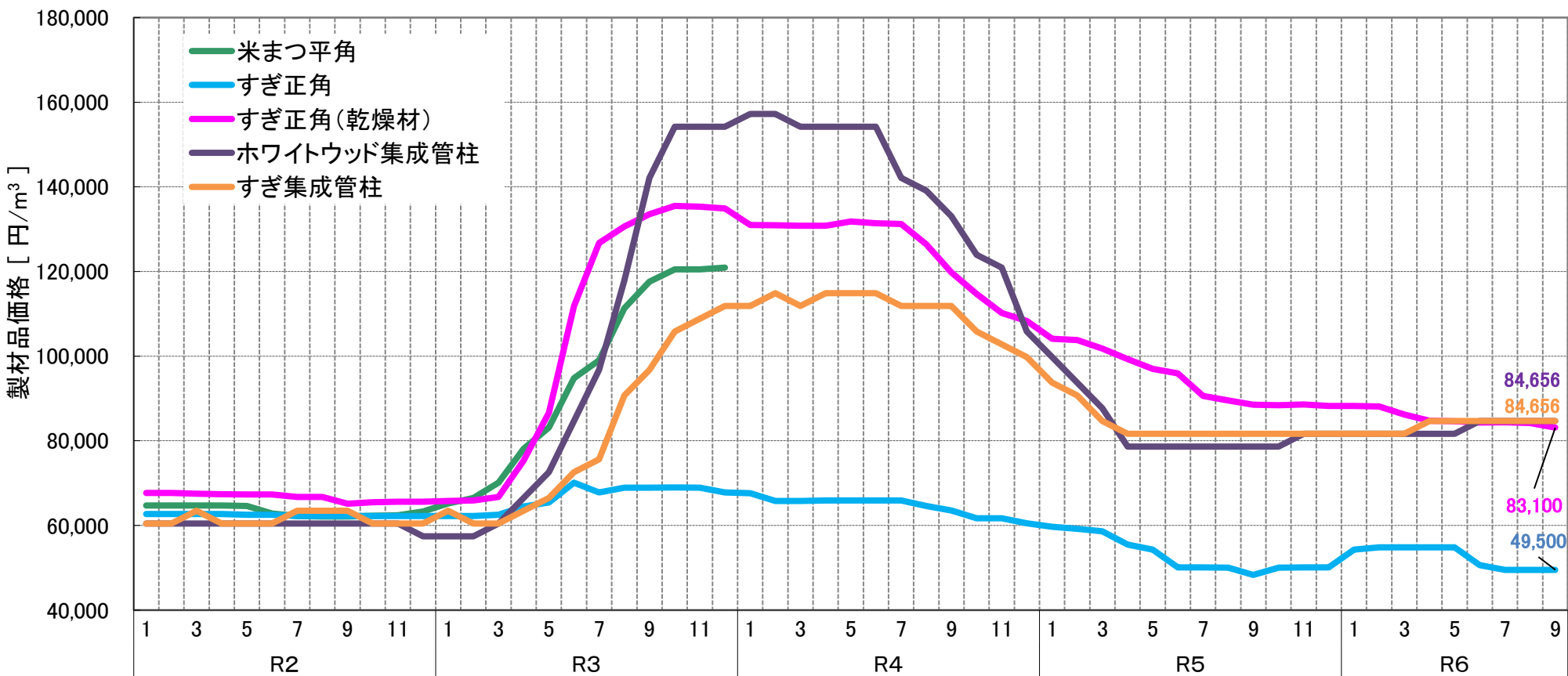


出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# ■ 全国の製材品主要品目価格の推移 (令和2年1月～令和6年9月)

○ Wウッド集成管柱とすぎ集成管柱の価格は6月に同額となり横ばい。スギ正角(乾燥材)は保合。スギ正角は横ばい傾向にあったが6月より弱保合。

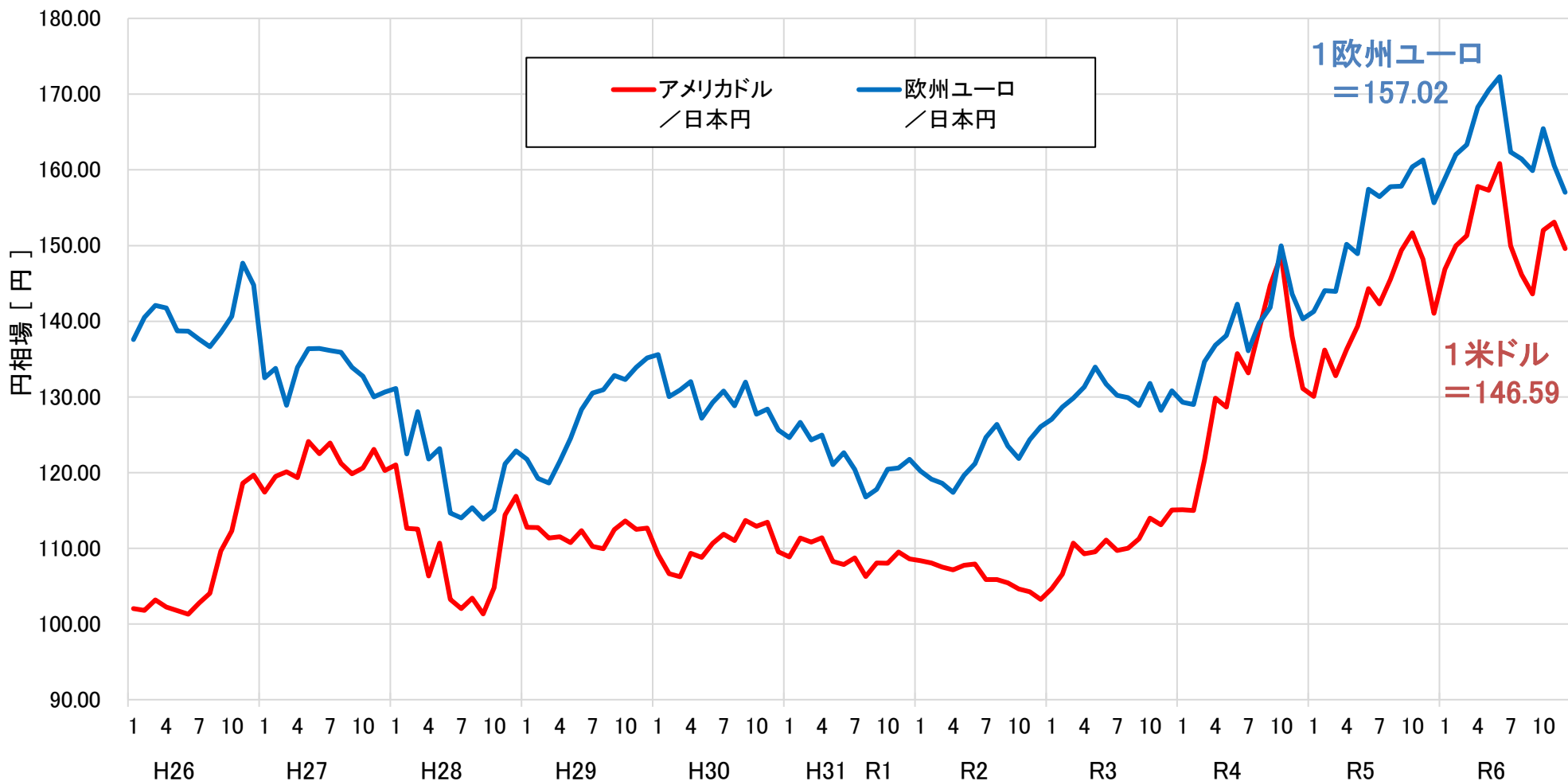
製材品価格



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」  
 ※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。  
 ※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。  
 ※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

# 為替レートの推移 (平成26年1月～令和6年12月)

- 米ドルは、12月1日現在146円台後半。
- 欧州ユーロは、12月1日現在157円台前半。

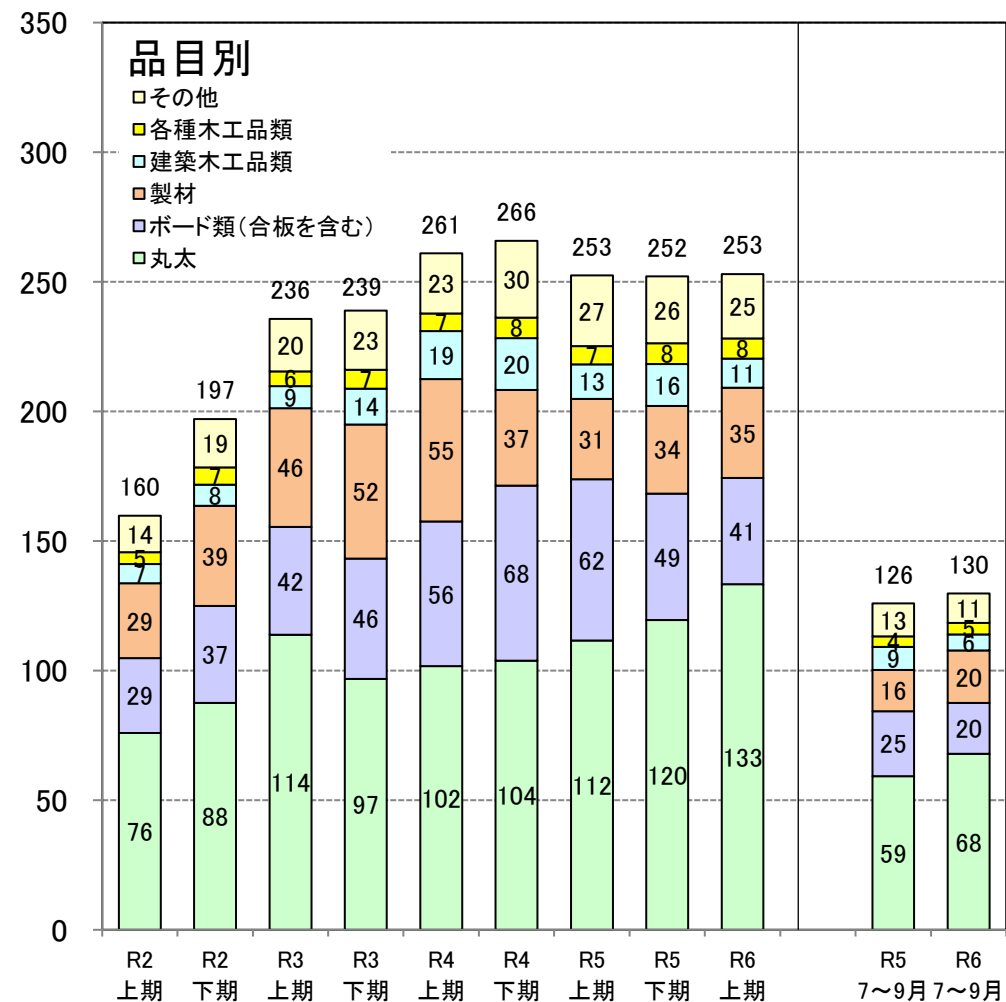
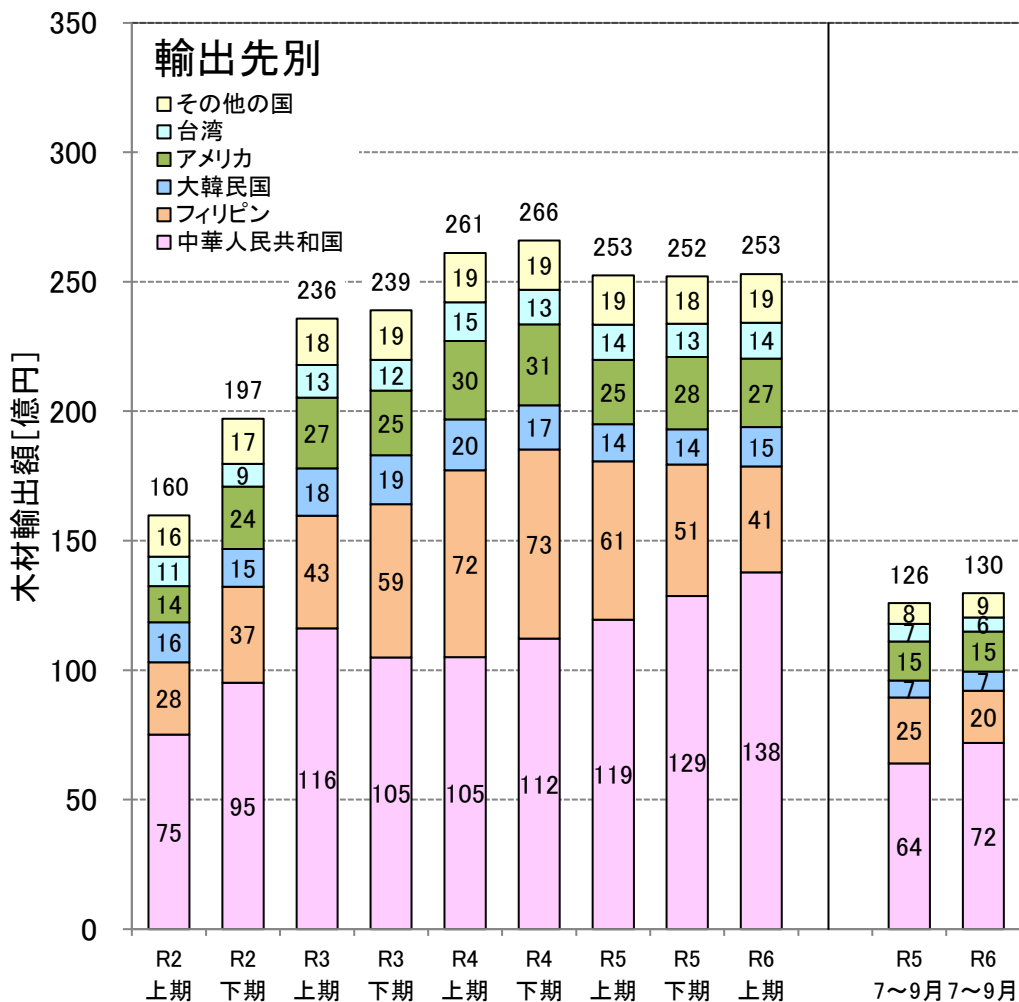


出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は月初日の終値)  
 (注)：令和6年12月1日現在



# ■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

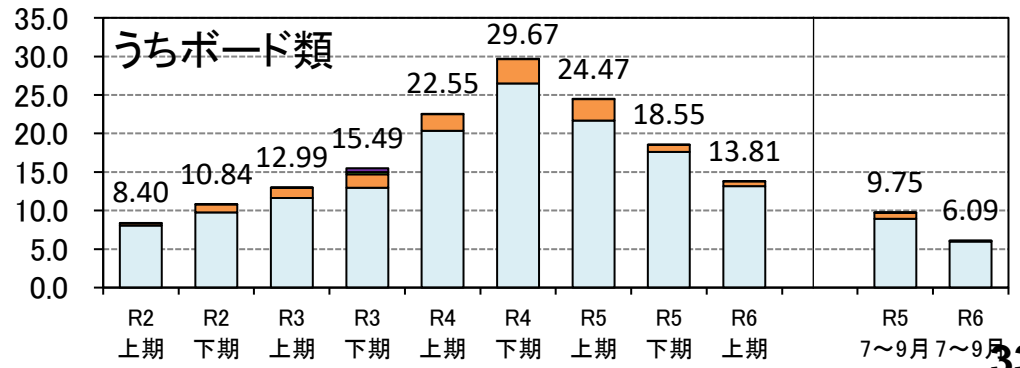
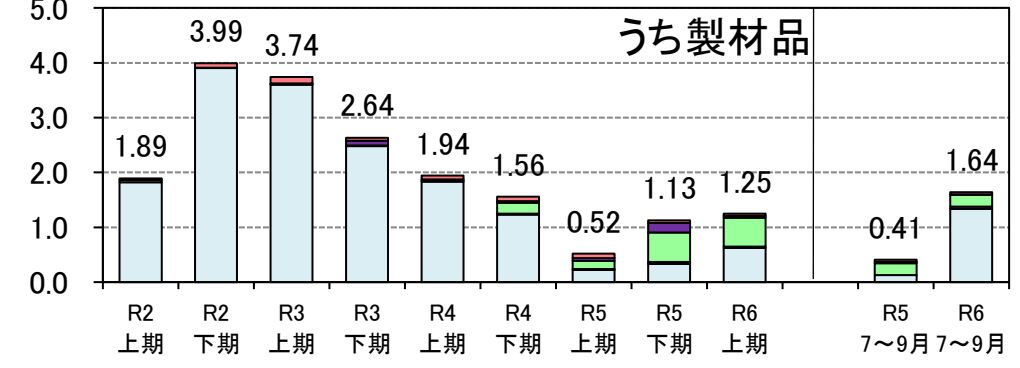
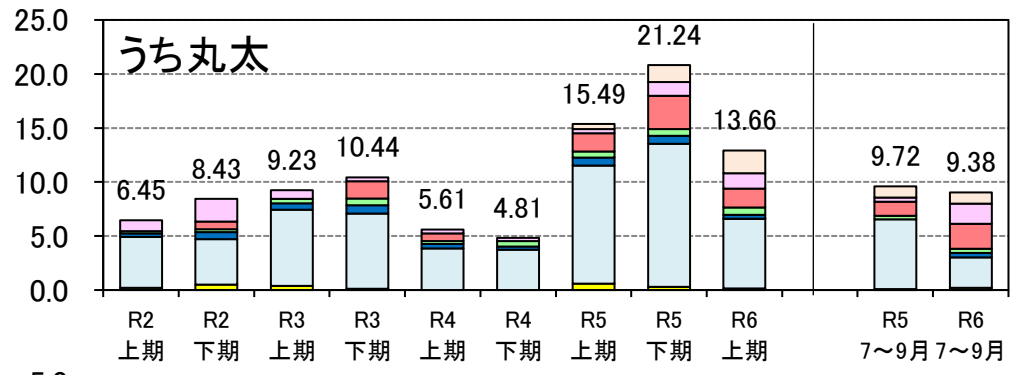
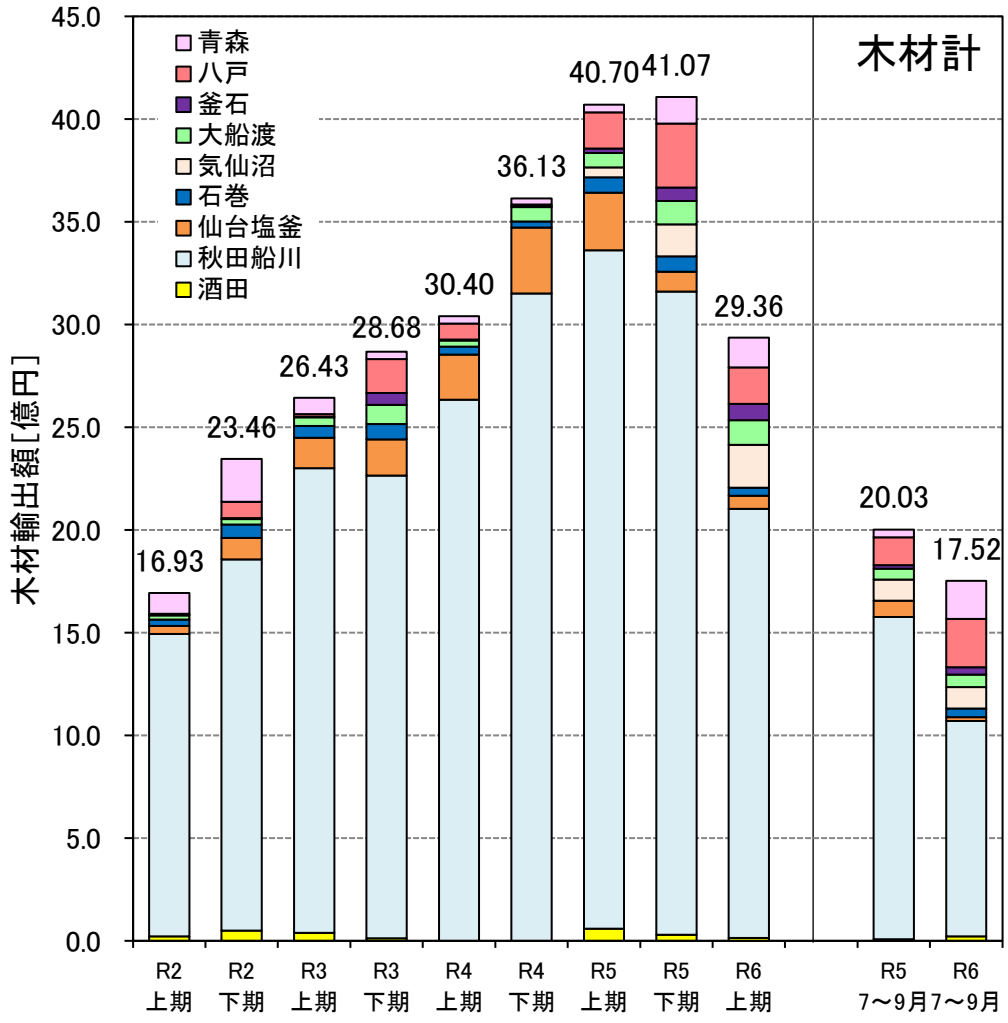
- 木材輸出額はR6年7～9月期を昨年同期と比較すると+3%となっている。
- R6年7～9月期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、丸太が+15%、ボード類が-22%、製材が+28%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

# ■ 東北5県における木材輸出額の推移(輸出港別)

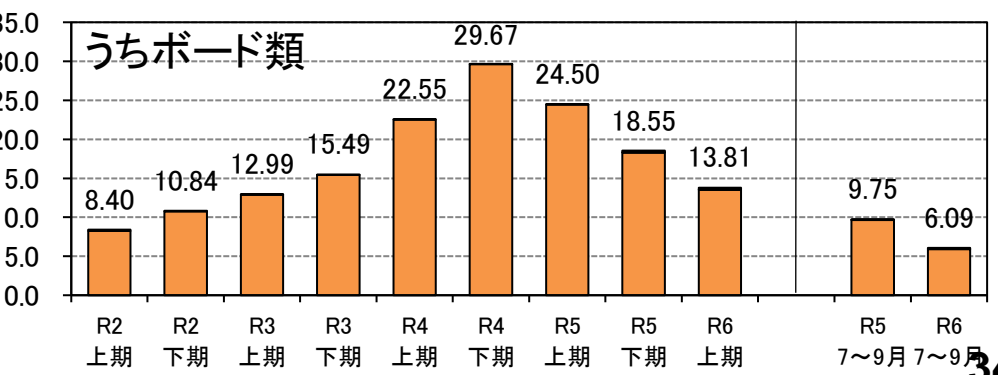
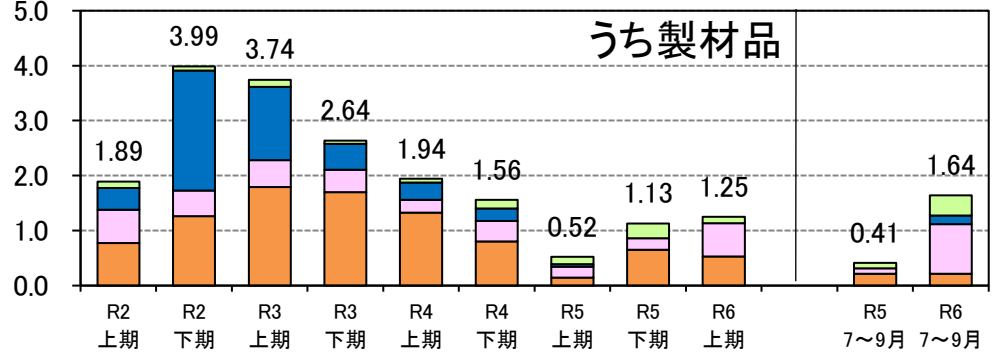
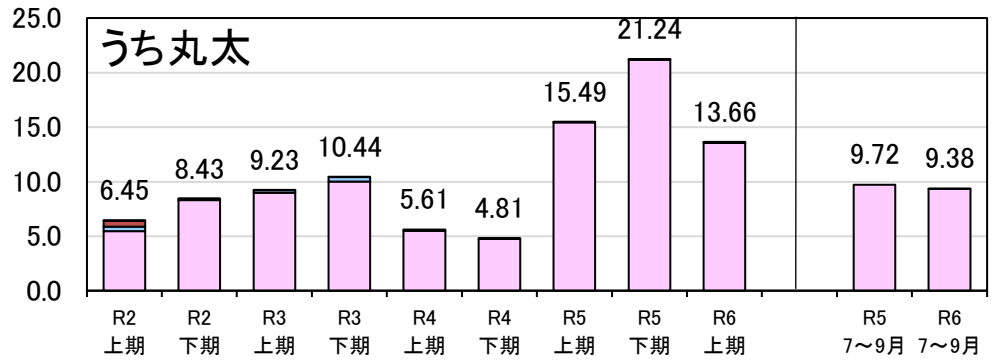
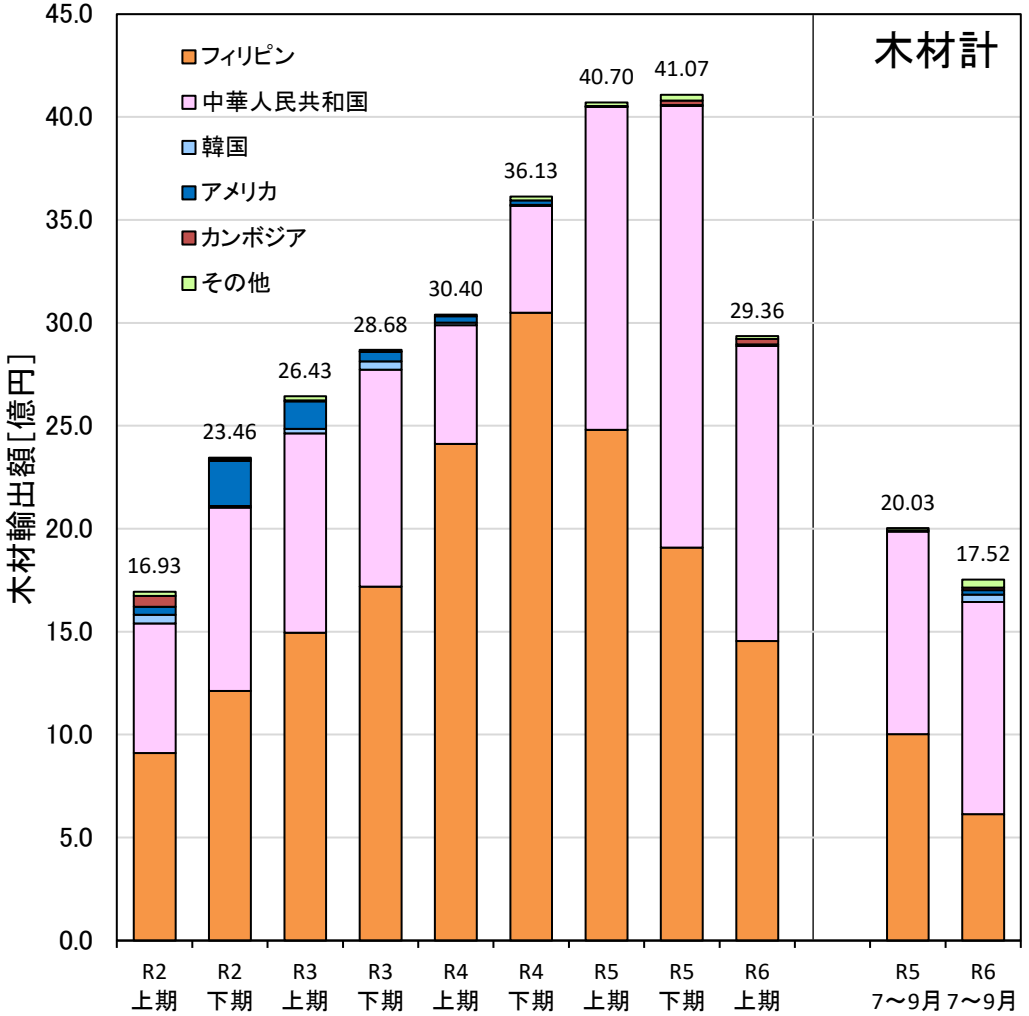
○ R6年7月～9月期と昨年同期を比較すると-13%となっている。  
 ○ 品目別比較すると、丸太が-4%、製材が+299%、ボード類が-38%となっている。



出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

# ■ 東北5県における木材輸出額の推移(輸出先別)

○ R6年7月～9月期の木材輸出額は中国が最も多く、次がフィリピンとなっている。  
 ○ 品目別では、丸太・製材は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。

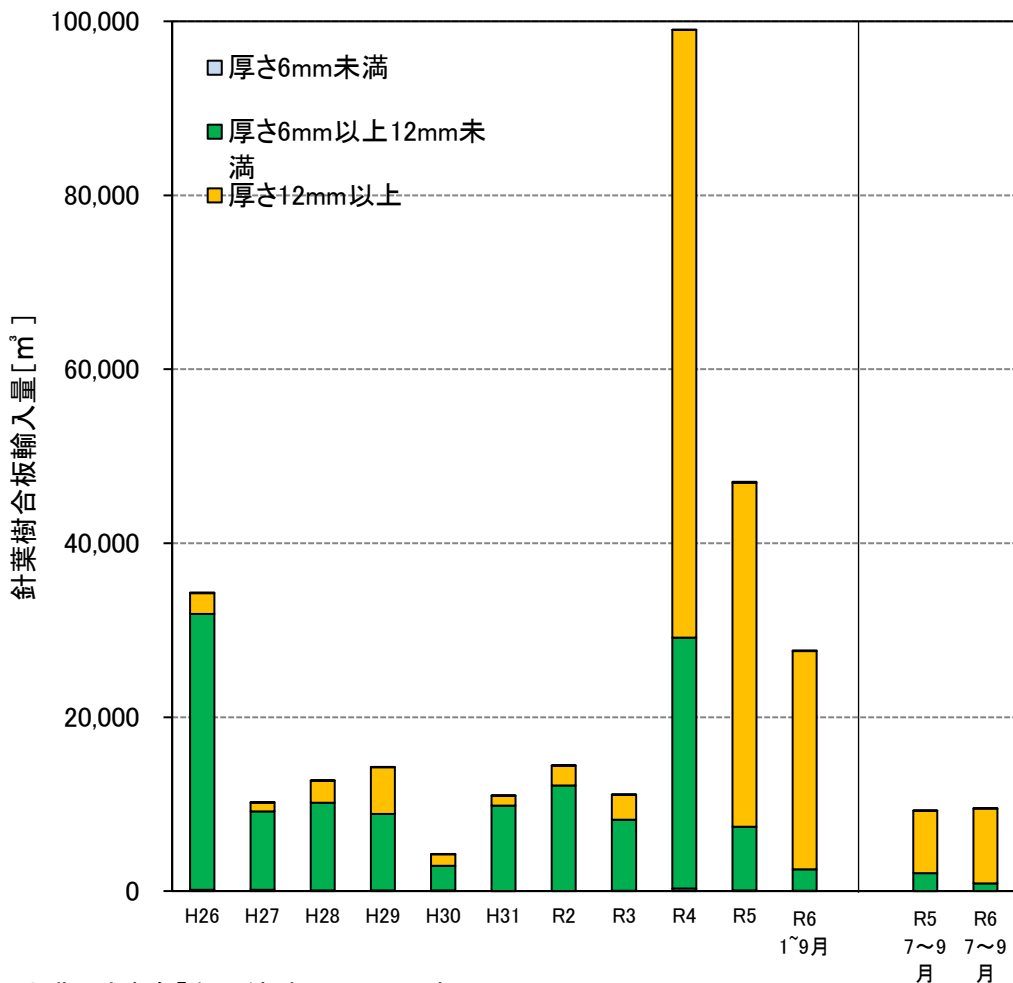


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

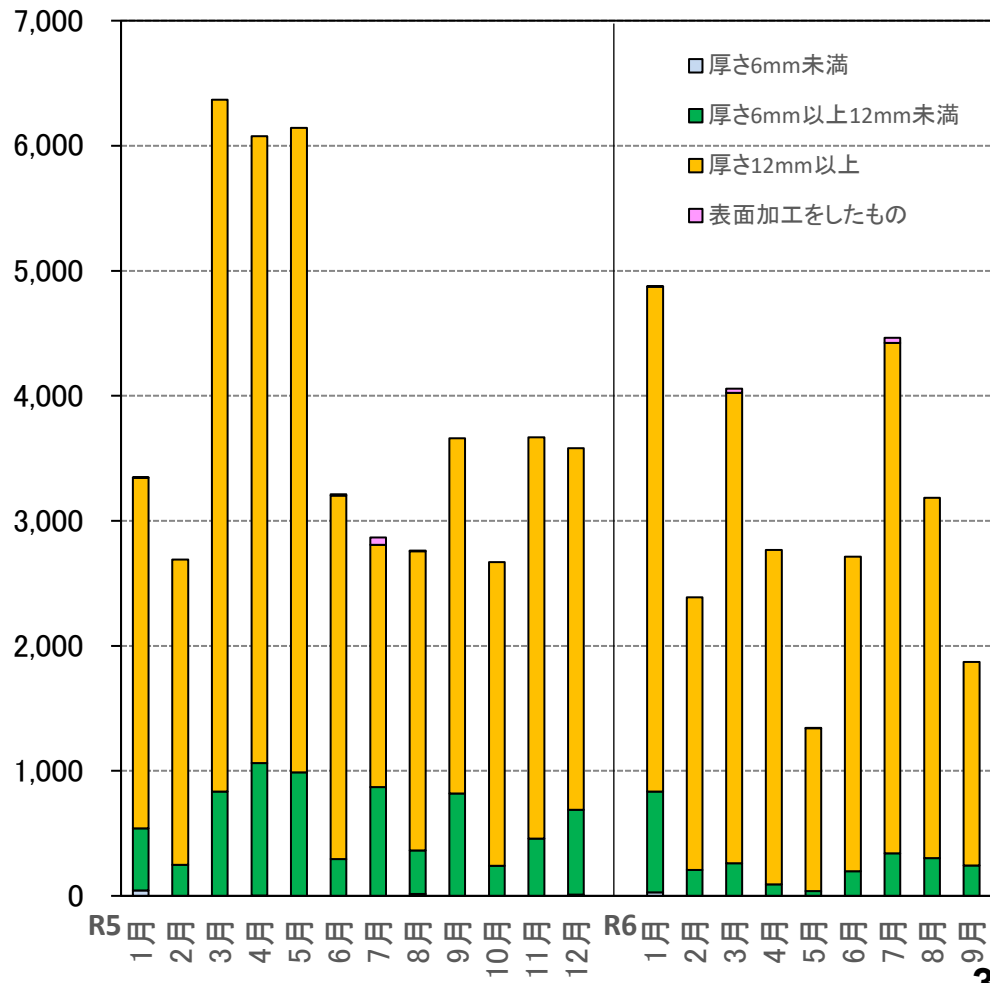
# 中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

- R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、±0%となっている。
- R5年の輸入量は3月が最も多かったが、R6年は現状1月が最も多い。

中国からの合板輸入量(年別)



中国からの合板輸入量(R5・R6月別、m<sup>3</sup>)

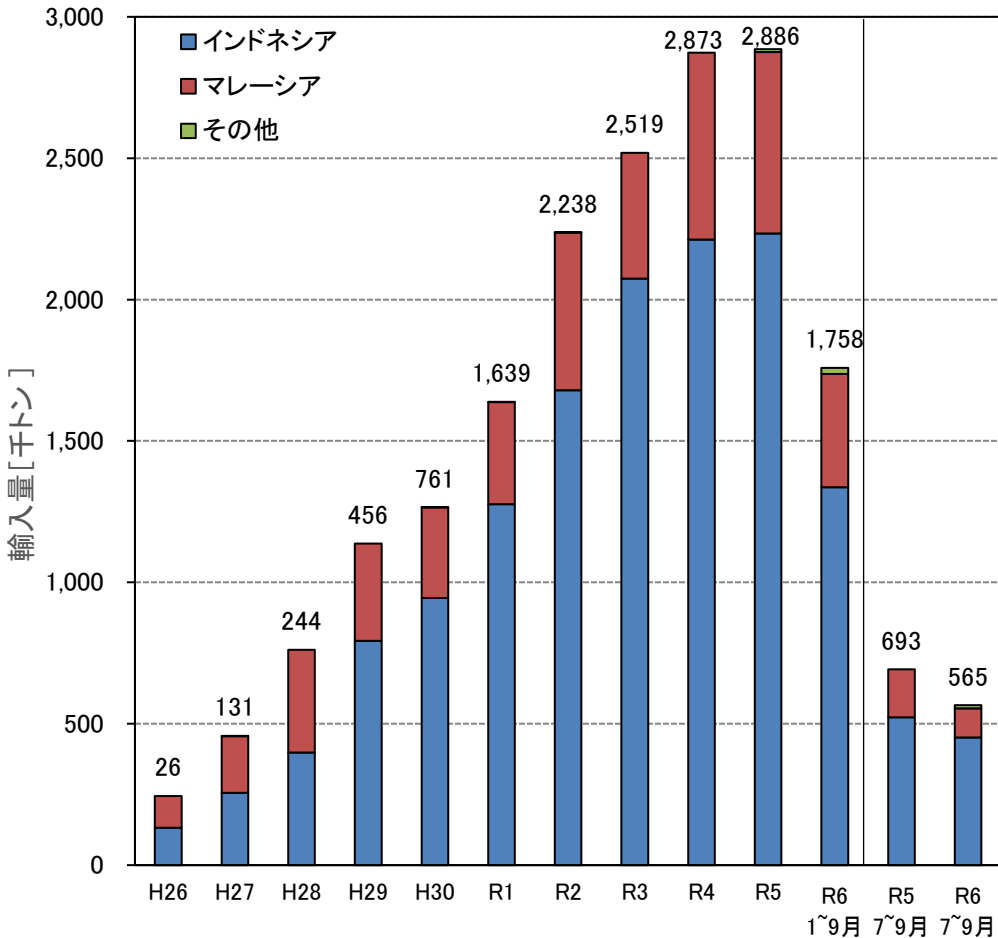


出典：財務省「貿易統計：品別国別表」

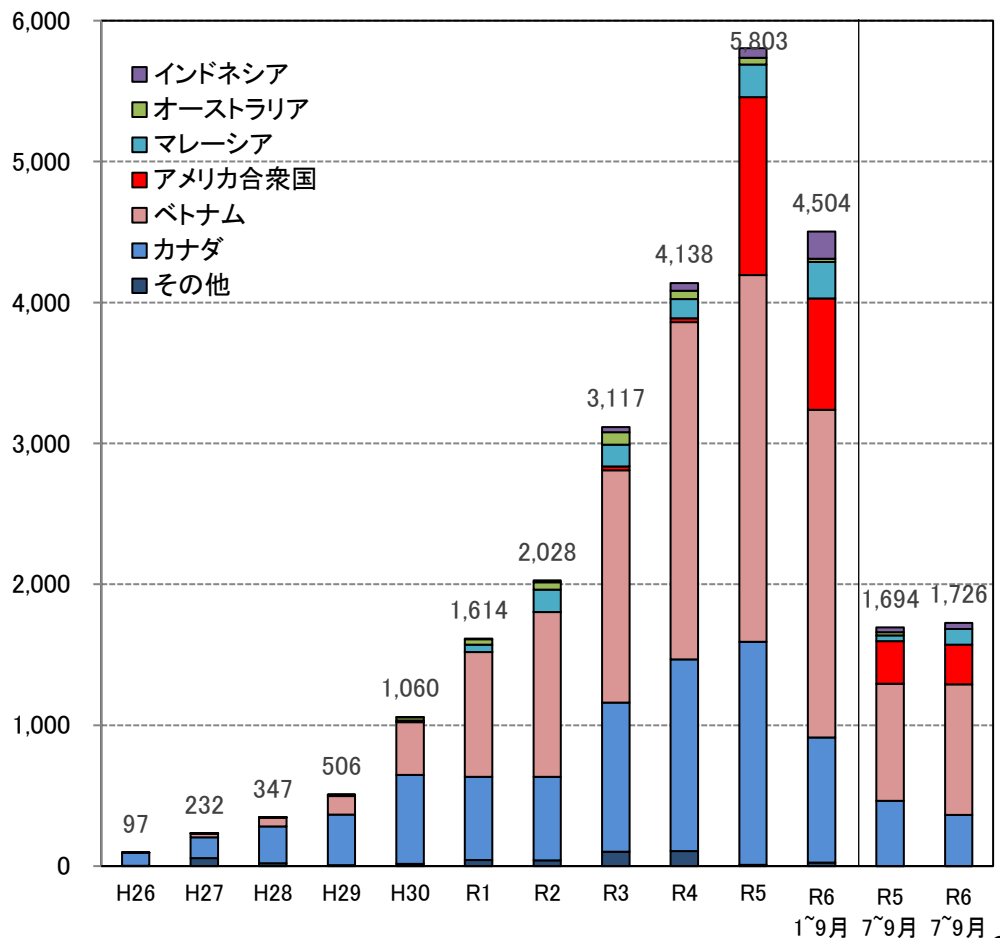
# PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、-18%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア80%、マレーシア18%となっている。
- 木質ペレット輸入量は増加しており、R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、+2%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム54%、カナダ21%、アメリカ合衆国16%、マレーシア6%となっている。

## PKS



## 木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」



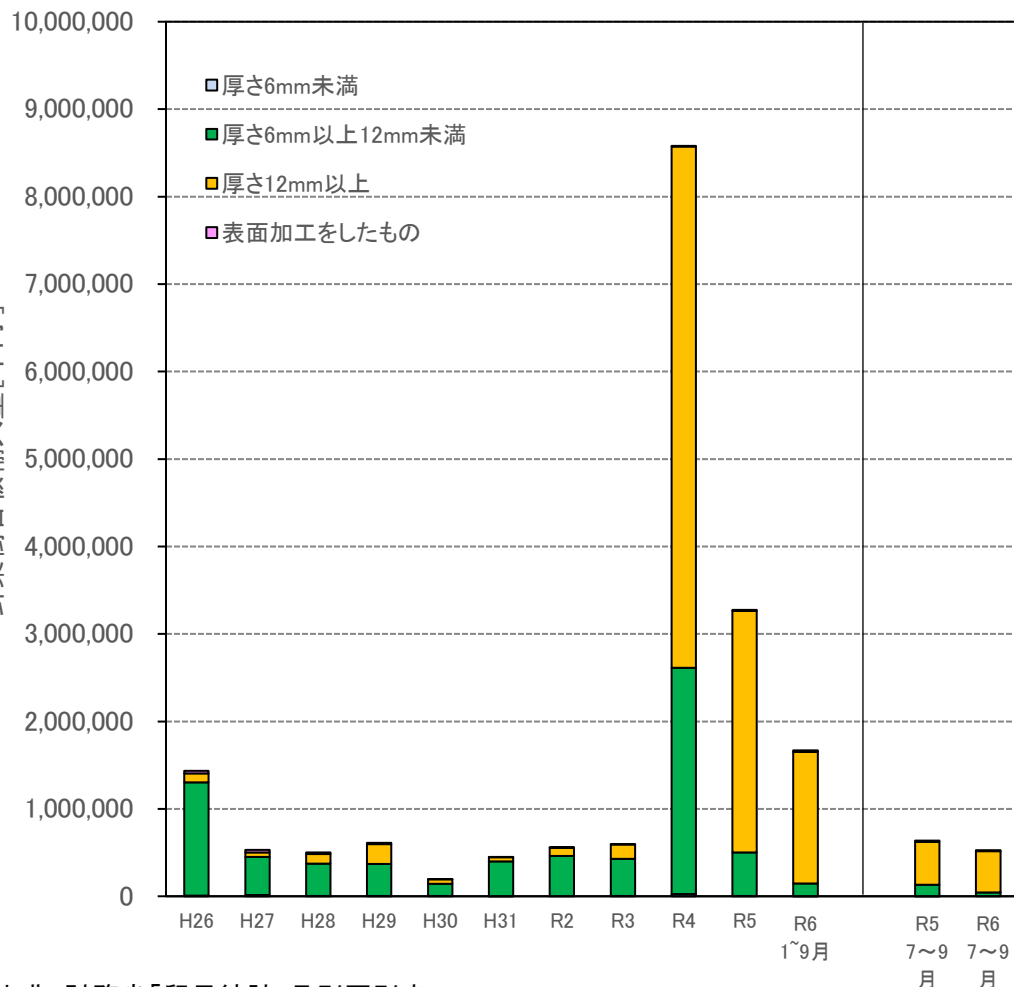
# 補足資料

- 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移
- PKS・木質ペレットの輸入額の推移

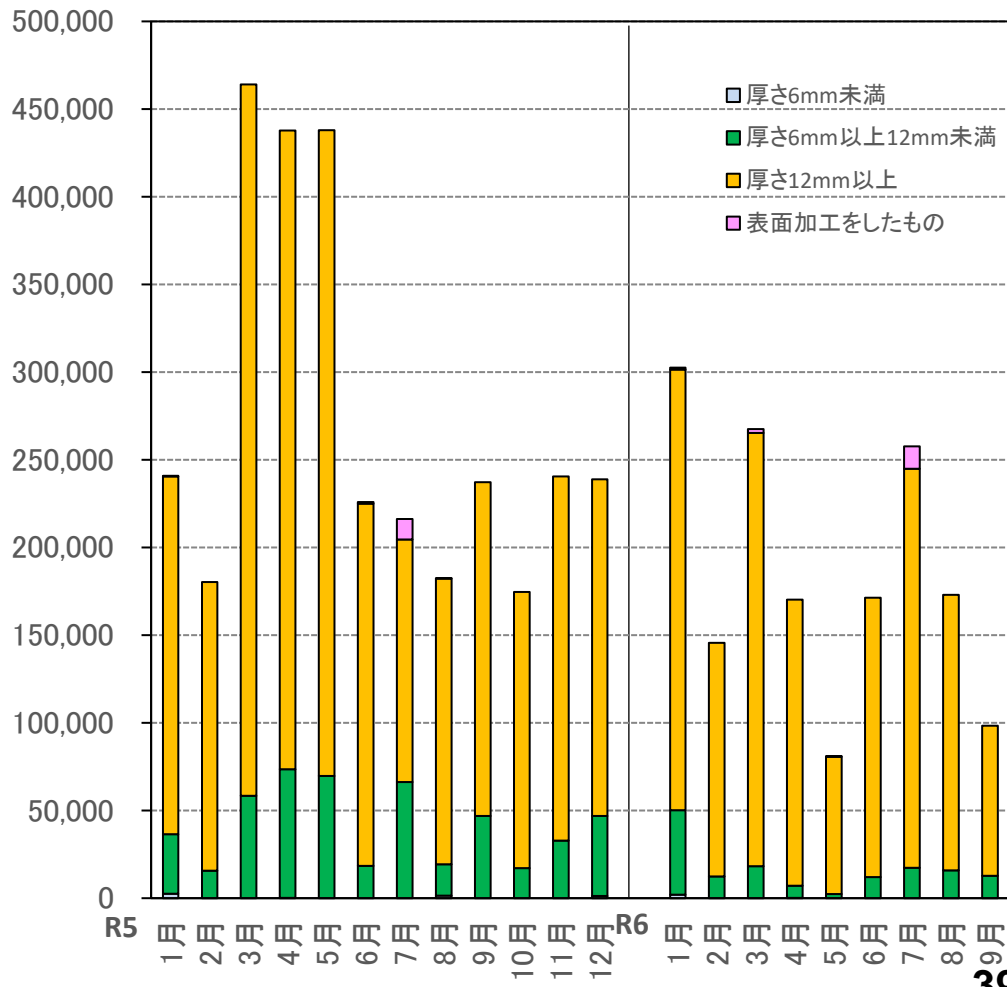
# 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、-17%となっている。
- R5年の輸入額を月別に見ると、3月が最も多くなっている一方で、R6年では現状1月が最も多い。

中国からの合板輸入額(年別)



中国からの合板輸入額(R5、R6月別、千円)



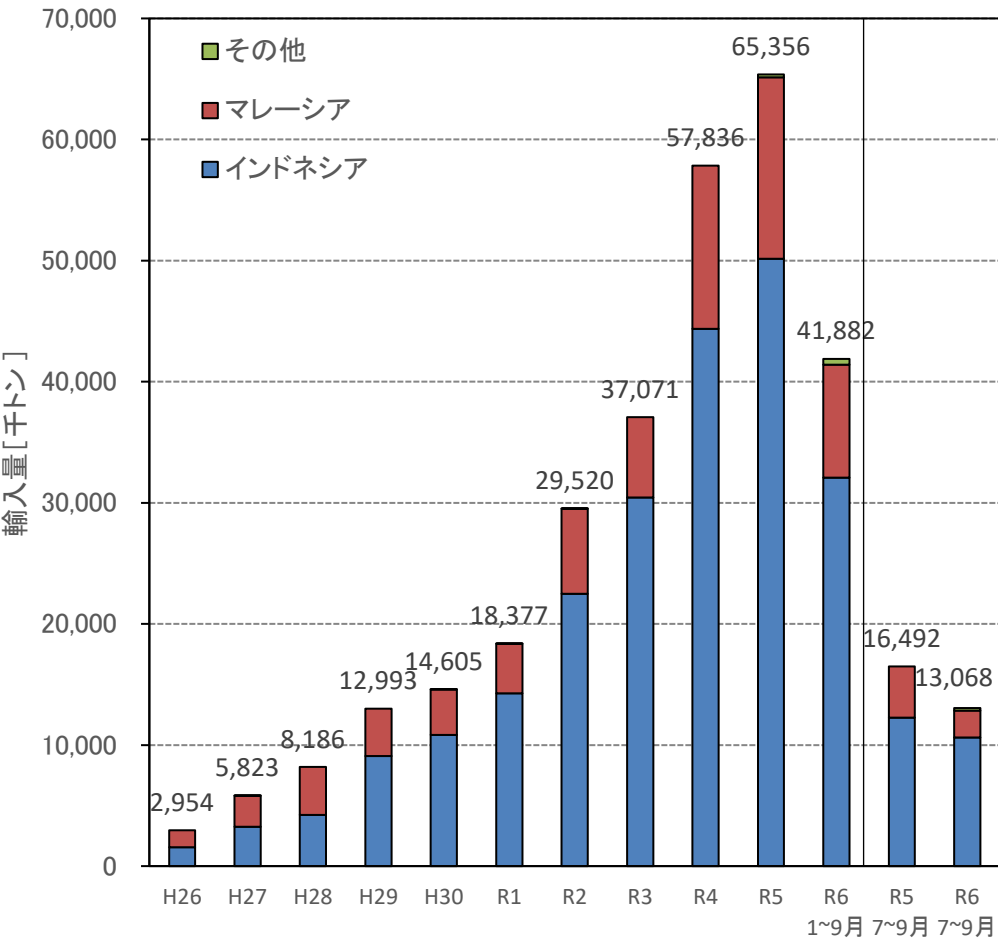
出典: 財務省「貿易統計: 品別国別表」



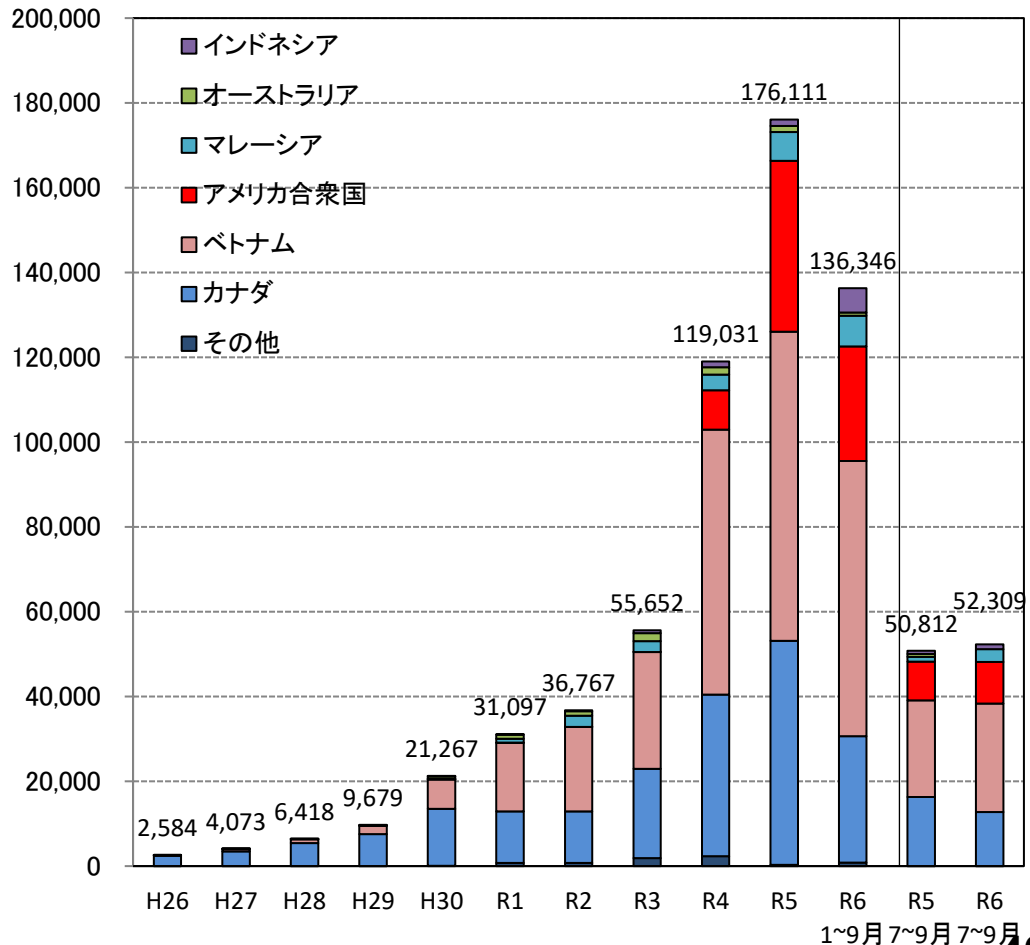
# PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入額は、R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、-21%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア81%、マレーシア17%となっている。
- 木質ペレット輸入額は、R6年7～9月期と昨年同期を比較すると、+3%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム49%、カナダ24%、アメリカ合衆国19%、マレーシア6%となっている。

## PKS



## 木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」